



取扱説明書

LGデジタル サイネージ (モニターサイネージ)

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 4.0

www.lg.com/jp

目次

設定 4

- ホーム 4

グローバルボタン

ダッシュボード

[コンテンツマネージャー]

- Ez設定 5

[ビデオウォール]

[予約リストのオン/オフ]

[SIサーバーの設定]

[サーバーの設定]

[フェイルオーバー]

[状況メールの送信]

[URL経由で再生]

[設定データの複製]

[同期モード]

[マルチ画面]

[LG ConnectedCare (サイネージ365
ケア)]

[LG Business Cloud]

[オフィス会議モード]

- 全般 15

[言語]

システム情報

[IDの設定]

[時刻設定]

[電源]

[ネットワーク]

[安全モード]

[詳細設定]

- ディスプレイ 29

[映像モード]

[画面サイズ]

[回転]

[詳細設定]

ビデオ出力解像度

- 画面保護モードの設定方法 37

ステップ1: [画面保護モード設定]の設定
ステップ2: [ネットワーク]の構成 (ビデ
オウォールモードを使用する場合)

- サウンド 42

[サウンドモード]

[スピーカー設定]

[AUDIO OUT]

[AVシンク]

[デジタル音声入力]

- 管理者 45

[ロックモード]

[パスワードの変更]

[エンタープライズ設定]

[HDCPダイナミック出力制御]

[初期化]

コンテンツ管理者 47

- Webログイン 47

- コンテンツ管理者 47

[Player]

[予約リスト]

[エディター]

- グループマネージャー2.0 54

- ScreenShare 57

- LG Presenter 58

接続

Screen Share

ハンドオーバー

管理ツール 61

- コントロールマネージャー 61
- 映像ID 62

タッチ 63

- Touch Assistive Menu 63

タッチスクリーンで外部PCを操作する 64

- PCへの接続 64
- タッチスクリーン上のタスクの優先度 .. 64

スマート校正 65

- 実行方法 65
- [Manual Calibration]

IRコード 67

複数の製品のコントロール.... 69

- 接続ケーブル 69
- 通信パラメーター 70
- コマンドリファレンスリスト 71
- 送受信プロトコル 75

本製品に実装されている
GPL、LGPL、MPLおよびその他のオープン
ソースライセンスに基づく開示義務を有
するソースコードの入手は
<https://opensource.lge.com/> のWebサ
イトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライ
センス内容および著作権表示をダウンロード
することができます。また、弊社は有料で
CD-ROMによりオープンソースコードを提
供しています。料金にはCD-ROMの代金、
送料、取扱手数料が含まれます。ご希望され
る場合は、opensource@lge.comまで電
子メールでお問い合わせください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年
間、本情報を受け取られたすべての方に対
して有効です。

✓ ヒント

- ソフトウェアに関連する内容は、製品の機能をアップグレードするために事前の通告なしに変更されることがあります。
- モデルによっては、本書に記載されている機能をサポートしていない場合があります。
- 本製品はSNMP2.0*をサポートしています。（*SNMP：Simple Network Management Protocol）

設定

ホーム

グローバルボタン

-  [位置]：OSD出力位置選択画面に移動します。
-  [モバイルURL]：外部デバイスのブラウザーを通してモニターセットにアクセスする必要がある情報を提供します。この機能を使って、QRコードとURL情報が表示できます。さらに、URLにアクセスすると、Content ManagerおよびGroup Manager 2.0、さらにControl Managerも実行できます。（この機能はGoogle Chromeに対して最適化されています。）
-  [入力切換]：外部入力選択画面に移動
-  [設定]：[設定]画面に移動
- **FREEZE**：キー入力の瞬間に、外部入力の画像で画面をフリーズさせます。これはLAEC（AIO）専用の機能です。（一部のアプリへ切り替えると、この機能がキャンセルされることがあります。例えば、他の外部入力アプリ、マルチスクリーン、dsmp、siアプリ、プレーヤーなどです）

ダッシュボード

- この機能は、ホーム画面の中央にある[サイネージ]モニターに関する主な情報を表示します。[ダッシュボード]で、対応する項目を選択して、設定を手動で変更できます。
-  [マニュアルのダウンロード]：QRコードをスキャンして、マニュアルをダウンロードします。

✓ ヒント

- ダッシュボードがロックされると、焦点は移動しません。
- お使いのモバイルデバイスのQRコードアプリによっては、このページにアクセスできない場合があります。（提供するアドレスを使用して、マニュアルのダウンロードページにアクセスしてください。）

[コンテンツマネージャー]

- [Player]：画像、動画、SuperSignコンテンツを含む様々なコンテンツを再生します。
- [予約リスト]：別の時間に再生されるコンテンツの予約を管理します。
- [エディター]：テンプレートとメディアファイルを使って、独自のコンテンツを作成できます。
- [Group Manager 2.0]：コンテンツ予約と設定データを接続デバイスに送信します。

Ez設定

[ビデオウォール]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [ビデオウォール]

[ビデオウォール]オプションを設定して、ワイドな表示キャンバスを作成します。

- [タイルモード]: [タイルモード]のオン、オフを切り替えます。
- [タイルモードの設定]: 使用している複数のモニターでひとつの画面を表示します。
- [ナチュラルモード]: モニターのベゼル部分を除いて映像を表示して、より自然な映像になるようにします。
- [フレームコントロール]: [スキャン反転] を実行するセットおよびフレームずれを調整します。
- [スキャン反転] を実行する場合は、[フレームコントロール] を実行しないセットに対して [スキャン反転] を実行してください。
- [スキャン反転]: 画面のスキャン方法を変更することにより、隣接するビデオウォール間の画面のずれを減らします。
- [ホワイトバランス]: ホワイトバランス (White Pattern、R/G/B-ゲイン、Backlight) を設定します。
- [初期化]: 初期設定にリセットします。
- [Reboot to Apply (再起動して適用)]: セットを再起動して、変更したフレームコントロール/スキャン反転値を設定します。

✔ ヒント

- タイルモードを有効にすると、奇数行の場合は [フレームコントロール]、偶数行の場合は [スキャン反転] が自動的に設定されます。

[予約リストのオン/オフ]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [予約リストのオン/オフ]

所定日時までにサイネージを使用するよう予約を設定します。

- [時刻設定のオン/オフ]: 曜日毎にオン/オフ時刻を設定します。
- [休日設定]: 日付および曜日で休日を設定します。

[SIサーバーの設定]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [SIサーバーの設定] → [SIサーバーの設定]

お使いのサイネージを外部SIサーバーに接続するようセットアップします。SIアプリインストールのためにサーバー環境をセットアップします。

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [SIサーバーの設定] → [開発者モード/Beanviser]

アプリの開発者に非常に便利な機能です。

セットアップするには、開発者モードを有効にして、BEANVISERアプリをインストールします。

✔ ヒント

- これらの機能を使用するには、webOSサイネージ開発者サイト (<http://webossignage.developer.lge.com/>) のアカウント (ID/パスワード) が必要です。

[サーバーの設定]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [サーバーの設定]

お使いのサイネージをSuperSignサーバーに接続するようセットアップします。

- SuperSign CMSサーバー
- SuperSign Controlサーバー

[フェイルオーバー]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [フェイルオーバー]

障害発生時の入力デバイスの優先度を設定します。自動的にデバイスに保存されたコンテンツを再生するか、設定されたアプリを実行します。

- [オン/オフ]：[フェイルオーバー] のオン、オフを切り替えます。
- [入力 の 優先度]：フェールオーバーの入力ソースの優先度を設定します。
- [ストレージにバックアップする]：入力信号がないとき、この機能により、自動的にデバイスに保存されたコンテンツが再生されるか、設定されたアプリが実行されます。
[オン]に設定すると、[自動]、[手動設定]、[SuperSign コンテンツ] 項目が有効になります。
 - [自動]：一定の間隔で再生される画像や動画のスクリーンショットを取得するために自動入力に切り替わると、この機能がファイルを再生します。(OLEDモデルはサポートされていません。)
 - > キャプチャ間隔：間隔は、30分、1時間、2時間または3時間に設定できます。
 - [手動]：画像や動画ファイルをアップロードするために自動入力に切り替わると、この機能がファイルを再生します。
 - > [バックアップメディアの選択]：設定ボタンを使用すると、内蔵メモリーまたは外部メモリーのファイルをアップロードできます。
 - > [プレビュー]：アップロードされるファイルをプレビューできます。
 - [SIアプリ/URL経由の再生]：入力が自動的に切り替わる場合は、SIアプリを実行するか、URL経由で再生してください。
 - > [SIアプリ]：SI Appの動作は、[Ez設定]の[SIサーバーの設定]メニューでの設定によって異なります。
 - > [URL経由で再生]：URL経由で再生の動作は、[Ez設定]の[URL経由で再生]メニューでの設定によって異なります。
 - > [URL経由で再生]と[SIサーバーの設定]の両方を実行できる場合、自動入力切り替え発生時に、[URL経由で再生]が実行されます。
 - [SuperSign コンテンツ]：自動入力に切り替わると、この機能は、SuperSign CMS に配信されるファイルを再生します。
- [初期化]：初期設定にリセットします。

✔ ヒント

- モデルによっては、[SIアプリ/URL経由の再生]機能がサポートされない場合があります。
- 複数の入力デバイスを同時に接続すると、故障がない場合でも、入力デバイスは有効な信号を持つ最優先のデバイスへ自動的に切り替わります。

[状況メールの送信]

SETTINGS / → [Ez設定] → [状況メールの送信]

モニターの状態を自動評価して、メールで管理者に通知されるようにシステムを構成します。

- [オン/オフ]：[状況メールの送信]のオン、オフを切り替えます。
- [設定された条件で送信]、[障害が発生したとき]：メール送信間隔を設定します。
- [ユーザーのメールアドレス]：送信者のユーザーメールアドレスを設定します。
- [送信サーバー (SMTP)]：SMTPサーバーのアドレスを設定します。
- [ID]：送信者のアカウントIDを入力します。
- [パスワード]：送信者のアカウントのパスワードを入力します。
- [受信者のメールアドレス]：受信者のメールアドレスを設定します。
- [メッセージの送信]：モニターの状態をその場でチェックして、特定のメールアドレスに情報を配信します。
- [リセット]：初期設定にリセットします。

ヒント

- 以下の項目のステータスが変わりまたは異常を検出した場合、ステータスメッセージを送信できます。
 - 1. 温度センサー：モニターの温度が危険な水準に達した場合はその温度が記録され、この情報を含む電子メールが送信されます。
 - 2. 温度センサーの検証：温度センサーが接続されていない場合、温度センサーの通信状態が不明な場合、チッププロバイダーが提供した情報が異常である場合にメールが送信されます。
 - 3. LANステータス、WiFiステータス：ネットワークの接続状態が変わるとメールが送信されます。保存できるネットワークの状態の最大数は50に制限されています。電源をオフにすると、保存された値はリセットされます。
 - 4. 信号確認なし：信号の有無を確認します。10秒間以上信号がないと、メールが送信されます。
 - 5. 予約再生ステータス：コンテンツの管理ステータスまたはSuperSignコンテンツステータスのいずれかで予約された開始時刻と終了時刻の間にコンテンツが再生されない場合、電子メールが送信されます。ただし、リモコンで終了された場合、電子メールは送信されません。
 - 6. フェイルオーバーステータス：故障したり、最優先の入力デバイスへ自動的に切り替わった場合は、メールが送信されます。（ユーザーによる入力（RC、RS232C、SuperSign）切り替えは例外とします。）
 - 7. 動き検出状態：製品が外部環境により引き起こされる動きまたは衝撃を検出すると、電子メールが送信されます。
 - 8. 角度検出状態：製品が傾いたり倒れるなど、傾斜度が変化したことが検出されると、メールが送信されます。（モデルに応じて対応する機能は異なります。）
- SMTPポート25、465、587のみがサポートされています。
- 外部入力スイッチ（RC、RS-232C、SuperSign）を除く内部入力切り替えが発生すると、フェイルオーバーステータスであると判断されます。
- フェイルオーバーステータスに切り替わると、「フェイルオーバーステータス：フェイルオーバー」メッセージを含む電子メールが送信され、定期的にまたはステータスの変更時に、メッセージ「フェイルオーバーステータス：なし」を含むステータスの電子メールが送信されます。

[URL経由で再生]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [URL経由で再生]

内蔵Webブラウザで自動的に再生したいコンテンツを再生します。

- [URLローダー]：[URL経由で再生]のオン、オフを切り替えます。
- [URLの設定]：自動的に表示するURLアドレスを入力します。
- [プレビュー]：指定のURLにアクセスしてWebサイトをプレビューします。
- [保存]：指定されたURLを保存します。
- [再起動して適用]：指定したURLを保存してからモニターセットを再始動します。
- [リセット]：初期設定にリセットします。



ヒント

- この機能は、[画面の回転]が有効である場合には適用されません。この機能を使用すると、[プレビュー]が無効になります。
- [時刻設定] が [自動で設定] に設定されていない場合、Webサイトのナビゲーションが難しくなる場合があります。
- **SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [時刻設定] → [自動で設定]**を確認します。

[設定データの複製]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [設定データの複製]

この機能は、デバイスの設定を他のデバイスにコピー、インポートするために使用します。

- [設定データのエクスポート]：デバイスの設定を他のデバイスにエクスポートします。
- [設定データのインポート]：他のデバイスの設定をデバイスにインポートします。

[同期モード]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [同期モード]

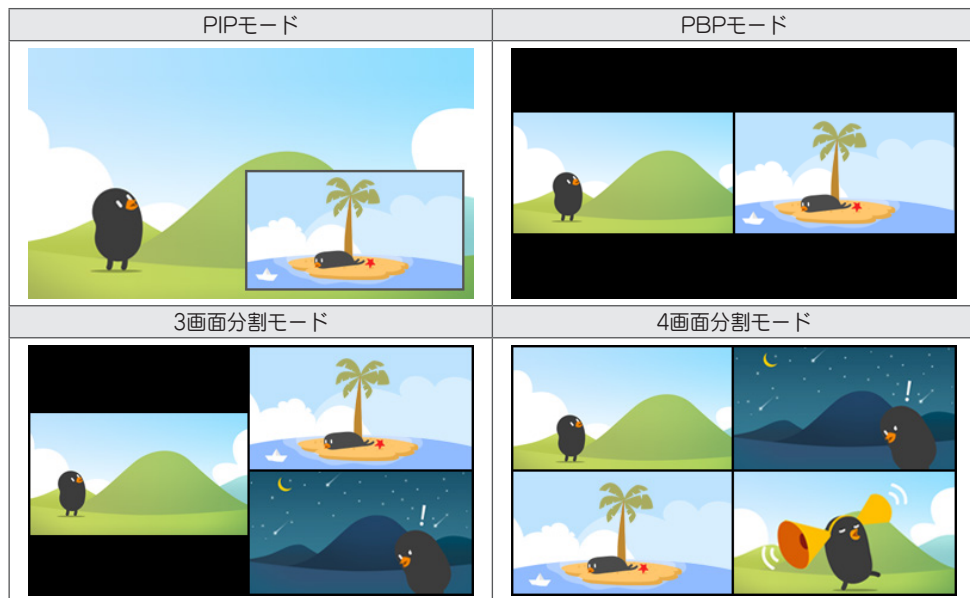
複数のサイネージ間で時間とコンテンツを同期します。

- [RS-232C同期]：RS-232Cで接続された複数のサイネージを同期します。
- [バックライト同期]：RS-232Cにより接続されたデバイスの間の照度センサーを使用して、バックライトを制御するために値を共有します。
- [ネットワークコンテンツの同期]：同じネットワークに接続された複数のサイネージを同期します。

[マルチ画面]

SETTINGS / ⚙️ → [Ez設定] → [マルチ画面]

単一の画面上で複数の外部入力や動画を表示できます。





ヒント

- マルチ画面モードは、DisplayPortディジーチェーン機能はサポートされていません。
- モデルによって利用可能な画面分割の数/形状は異なります。

画面のレイアウトの選択

画面のレイアウトを事前に設定しないでマルチ画面モードに変更されると、画面のレイアウトの選択メニューが表示されます。画面のレイアウト選択メニューが画面に表示されない場合は、リモコンの矢印キーを押して画面のレイアウトメニューバーに移動し、希望の画面のレイアウトを選択します。

画面のレイアウトのメニューを閉じる

画面のレイアウトのメニューから、リモコンの上方向矢印キーを押しての画面レイアウトのメニューバーに移動し、画面のレイアウトのメニューバーを選択するか、backキーを押して、画面のレイアウトのメニューを閉じます。

画面入力の変更

各分割画面の右上にある  ボタンを押して、目的の入力を選択します。

✓ ヒント

- 他の分割画面ですでに選択した入力を、再度選択することはできません。すでに選択した入力を選択するには、まず[リセット]ボタンを押して、全画面の入力をリセットします。
- PIPモードは、[外部入力回転]がオフに設定され、[画面回転]がオフまたは180に設定されている場合のみ作動します。
- PIPモードのサブ画面でサポートされる解像度は次のとおりです。他の解像度は使用できません。
- 1680 x 1050/1920 x 1080
- インターフェース形式はサポートされていません。例：1080i
- これは、両方のAV/メディアに適用されます。
- 4画面分割モードのモデルは、PIPサブ画面で3840 x 2160の外部入力解像度をサポートします。
-  ボタンのないモデルの場合は、画面構成メニューの入力変更ボタンに入り、画面を選択し、希望の入力を選択してください。

分割画面での動画再生

各分割画面の右上にある  ボタンを押します。[動画ファイル]を選択し、ストレージデバイスを選択して、選択したデバイス内の動画のリストを表示します。次に、リストから目的の動画を選択して、再生します。

✓ ヒント

- 分割画面では、HEVC、MPEG-2、H.264、またはVP9コーデックを使用して作成された動画を再生できます。PIPモードを使用しているときは、以下の組み合わせは使用できません。

メイン	サブ
HEVC	HEVC
H.264	HEVC
MPEG2	HEVC
VP9	VP9
H.264 4K	MPEG2
H.264 4K	VP9

- 3画面分割と4画面分割の制限は以下のとおりです。

4Kを使用する場合	最大2つのビデオのみをサポートします。 最大4K @ 60 fps + 2K @ 60 fpsの組み合わせが可能です。 ただし、H.264 4Kは、最大30 fpsをサポートしています。	
2Kのみを使用する場合	60fps	最大1つのMPEG2、2つのH.264、および4つの他のコーデックを組み合わせることができます。
	30fps	最大2つのMPEG2および4つの他のコーデックを組み合わせることができます。

- 推奨フレームレート：24、25、30、60（23.9、24.9、29.9、59.9を含む）
他のフレームレートでコンテンツを再生した場合、パフォーマンスは保証されません。
-  ボタンのないモデルの場合は、画面構成メニューの入力変更ボタンに入り、画面を選択し、希望のビデオを選択してください。

[LG ConnectedCare (サイネージ365ケア)]

SETTINGS / 設定 → [Ez設定] → [LG ConnectedCare (サイネージ365ケア)]

LG ConnectedCare（障害診断）をインストールして、障害の診断と予測を行うことができます。

- [インストール]：LG ConnectedCareをインストールします。
 - 1) [アカウント番号を入力]：LG ConnectedCareソリューションをインストールするための6桁のアカウント番号を入力します。
 - アカウント番号：LG ConnectedCareソリューションの登録時に割り当てられた番号。アカウント番号を入力すると、その番号に対応するアカウント名が取得されます。
- 2) [アカウント番号を確認する]：アカウント番号とそのアカウント番号に対応するアカウント名を表示し、アカウント番号を検証します。
 - アカウント番号が登録されている場合は、そのアカウント番号に対応するアカウント名が表示され、引き続きLG ConnectedCareソリューションをインストールできます。
 - アカウント番号が登録されていない場合、アカウント名として「不明」が表示され、ソリューションのインストールを続行できません。
- [有効化]/[無効化]：LG ConnectedCareソリューションを有効化/無効化するかどうかを設定します。
- [アカウント]：現在接続中のユーザーのアカウント番号と名前を表示します。
- [バージョン]：LG ConnectedCareソリューションのバージョンを表示します。
- [最新版を確認]：サーバーで使用可能な更新を確認します。
- [アップデート]：LG ConnectedCareを最新バージョンに更新します。
- [サーバーの状態]：セットとサーバー間の接続状況を表示します。
 - [接続されました。]：セットとサーバーが接続されているときに表示されます。
 - [接続されていません。]：セットとサーバーが切断されているときに表示されます。
 - [承認待ち]：サーバーが承認待ちのときに表示されます。
 - [却下]：サーバーが接続を拒否したときに表示されます。
- [初期化]：インストールされているLG ConnectedCareソリューションを削除します。

[LG Business Cloud]

SETTINGS / ⚙ → [Ez設定] → [LG Business Cloud]

障害診断と予測サービス用に、[LG Business Cloud]ソリューションをインストールできます。

- [インストールタイプ]：インストールする[LG Business Cloud]ソリューションのタイプを選択します。
- [インストールコード]：[LG Business Cloud]で作成された各ワークスペースが提供する番号を使用して、[LG Business Cloud]ソリューションをインストールします。
- [インストール]：[LG Business Cloud]ソリューションをインストールします。
 - 1) [インストールコードを入力する]：6桁のインストールコードを入力して、[LG Business Cloud]ソリューションをインストールします。
 - インストールコードを入力すると、インストールコードに対応するワークスペース情報が取得されます。
 - 2) [インストールコードの確認]：インストールコードと、それに対応したワークスペース情報を表示します。
 - インストールコードが登録されている場合、それに対応するワークスペース情報が表示され、[LG Business Cloud]ソリューションのインストールを継続できます。
 - インストールコードが登録されていない場合、ワークスペース情報は「不明」と表示され、ソリューションのインストールを続行できません。
- [ワークスペース]：ユーザーが現在接続しているビジネスとワークスペース情報を表示します。
- [バージョン]：[LG Business Cloud]ソリューションのバージョンを表示します。
- [詳細]：サポートされているソリューションのバージョンを表示します。
- [サーバーの状態]：セットとサーバーの間の接続状態を表示します。
 - [接続されました。]：セットとサーバーが接続されているときに表示されます。
 - [接続されていません。]：セットとサーバーが接続されていないときに表示されます。
 - [承認待ち]：サーバーが承認待ちであるときに表示されます。
 - [却下]：サーバーが接続を拒否したときに表示されます。
- [初期化]：インストールされている[LG Business Cloud]ソリューションをリセットします。

[オフィス会議モード]

SETTINGS / 設定 → [Ez設定] → [オフィス会議モード]

会議室で製品を使用するために、クイック機能を設定できます。

- オフィス会議モード：この機能をオンにすると、会議室での会議モードに関連する機能を設定できます。
- ミーティングガイド画面
 - ミーティングガイド画面：この機能をオンにすると、会議情報画面を使用できるようになります。この機能は、外部入力がない場合に背景画像を出力するためのものです。この機能をオンにすると、[無信号時画像表示]機能がオンになります。
 - 会議室名：会議情報画面がオンのときには、画面に表示されている会議室名を変更したり、会議室名を表示するかどうかを選択したりできます。
 - 時間：会議情報画面がオンのときには、画面に現在の時刻を表示するかどうかを選択できます。
- 詳細設定
 - オートブライト：この機能をオンにすると、周囲の環境に合わせてモニター画面の輝度が自動的に調整されます。
 - 映像モード：本製品がサポートしているすべての外部入力に、同じ映像モードを設定します。
 - 入力自動切り替え：これは、外部入力が入力されている場合、自動的に該当する外部入力に切り替わる機能です。この機能をオンにすると、[Ez設定] → [フェイルオーバー]機能が終了となります。
 - 自動電源オフ：電源を自動的にオフにします。この機能をオンにすると、[信号がなければ電源をオフ (15分)]と[I/Rがなければ電源をオフ (4時間)]機能がオンになります。
 - 入力名の編集：各外部入力の名前を変更します。
 - 表示タイマー：表示タイマーを使用します。この機能をオンにすると、外部入力を選択するための[プレゼンテーションタイマー]が画面に表示されます。
 - > **INPUT / 入力 → [プレゼンテーションタイマー]**
 - > 作動時間は10分間隔で120分までに設定できます。時間を設定したら、[開始]を押してタイマーを開始します。
 - > タイマーを一時停止する場合は、リモコンの黄色のボタンを押します。タイマーが一時停止すると、時間は青色で表示されます。
 - > タイマーを再開するには、リモコンの黄色のボタンを押してください。
 - > 残り時間が3分未満になると、時間は赤で表示されます。残り時間が1分未満になると時間が点滅します。
 - > タイマーを終了するには、リモコンの青いボタンを押します。
 - > タイマー終了から10分後、UIが自動的に消えます。
 - > 自動オフや省エネ設定により、タイマー動作中に製品がオフになることがあります。

ヒント

- 無信号の画像がダウンロードされている場合、[会議ガイド画面]をオンにすると、無信号時にダウンロードした画像が最初に表示されます。
- [会議ガイド画面]で[会議室名]、[時刻]の項目を使用し、ダウンロードした画像を無信号の画像として使用する場合は、サインネージモデルの最適な解像度に合わせて明るい色の画像を使用するが推奨されます。

全般

[言語]

SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [言語設定]

画面で表示するメニュー言語を選択できます。

- [メニュー言語]：お使いの[サイネージ]モニターの言語を設定します。
- [キーボード言語]：画面に表示されるキーボードの言語を設定します。

システム情報

SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [システム情報]

この機能は、デバイス名、ソフトウェアのバージョン、ストレージ容量などの情報を表示します。

[IDの設定]

SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [IDの設定]

- [IDの設定]（1～1000）：複数の製品がRS-232C経由で接続される際に各製品の一意の[セットID]番号を割り当てます。1～1000の範囲の番号を割り当てて、オプションを終了します。製品ごとに割り当てたセットIDを使用して、各製品を個別に制御できます。
- [IDの自動設定]：複数の製品が表示のために接続される際に各製品の一意の[セットID]番号を自動的に割り当てます。
- [IDの初期化]：製品のセットIDを1にリセットします。

[時刻設定]

SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [時刻設定]

この機能により、デバイスの日時を表示して変更できます。

- [自動で設定]：[時刻]と[日付]を設定します。
- [サマータイム]：[サマータイム]の開始時刻と終了時刻を設定します。サマータイムの開始/終了機能は、開始と終了が1日以上離れている場合のみ機能します。
- [NTPサーバーの設定]：基本NTPサーバー以外のNTPサーバーを設定できます。
- [タイムゾーン]：大陸、国/地域、都市、ユーザー設定に応じてタイムゾーンを変更できます。

[電源]

SETTINGS / ⚙️ → [一般] → [電源]

電源関連の機能設定

[信号がなければ電源をオフ（15分）]

[15分後自動オフ]機能を使用するかどうかを設定します。

- このオプションは、[オン]または[オフ]に設定できます。
- この機能を[オン]に設定すると、15分間信号がない状態になった後で製品の電源が切れます。
- この機能を[オフ]に設定すると、[15分強制オフ]機能は無効になります。
- 製品を長時間使用の場合は、この機能によって電源が[オフ]になるため、オフに設定することをお勧めします。

[IRがなければ電源をオフ（4時間）]

[4時間後オフ]機能を使用するかどうかを設定します。

- このオプションは、[オン]または[オフ]に設定できます。
- この機能を[オン]に設定すると、4時間リモコンの入力がない場合、電源がオフになります。
- この機能を[オフ]に設定すると、[4時間後オフ]機能は無効になります。
- 製品を長時間使用の場合は、この機能によって電源が[オフ]になるため、オフに設定することをお勧めします。

[DPM] / [DPM（スタンバイモード）]

[Display Power Management（DPM）]モードを設定します。

- この機能を[オフ]に設定しない場合、入力信号がないとモニターはDPMモードに入ります。
- この機能を[オフ]に設定すると、[DPM] / [DPM（スタンバイモード）]は無効になります。

[DPM起動設定] / [DPM（スタンバイモード）起動設定]

接続されたDVI-D/HDMIポートのデジタル信号処理に従い、セットをオンにします。

- [時刻設定]に設定した場合、この設定は、デジタル時計の信号のみを確認し、時計の信号を検出したらオンになります。
- [時刻設定+データ]に設定した場合、この設定は、デジタル時計とデータ信号の両方が入力の場合にオンになります。

[PMモード]

- [電源オフ（既定）]：通常DCオフモードを設定します。
- [画面サイズの維持]：PC は、電源がオフである場合でも、拡張ディスプレイ識別データ（EDID）を保持します。
- [映像オフ]：DPM、自動電源オフ（15分、4時間）、異常シャットダウンモードに切り替わると、[映像オフ]ステータスに切り替わります。
- [常に画面オフ]：DPM、自動電源オフ（15分、4時間）、オフ時間予約、異常シャットダウンモードに切り替わるか、リモコンの電源ボタンまたはモニターのオフボタンからの入力がある場合、[映像オフ]に切り替わります。
- [画面オフ/バックライトオン]：[画面オフ]状態の場合にディスプレイを適切な温度に維持するために、バックライトを部分的にオンにします。
- [ネットワーク準備完了]：モニターはオフになっていますが、ネットワークを介して内部で電力を制御できます。

ヒント

- 画面を[映像オフ]から[オン]状態に切り換えるには、リモコンのPower、Inputボタン、またはモニターのOnボタンを押す必要があります。

[電源オン遅延]（0～250）

- 複数のモニターをオンにしたときに、電源がオンになる時間をずらして、過負荷を防ぎます。
- 遅延の間隔は0～250秒の範囲で設定できます。

[電源オンの状況]

- 主電源がオンにしたときのモニターの状態を選択します。
- PWR（電源オン）、STD（スタンバイ）、[LST（前回の状況）]から選択できます。
- [PWR（電源オン）]主電源がオンになったときにモニターの電源をオンにします。
- [STD（スタンバイ）]主電源がオンになったときにモニターがスタンバイ状態になります。
- [LST（前回の状況）]モニターを前の状態にします。

[Wake On LAN] / [Wake On LAN（ネットワークスタンバイモード）]

- [Wake On LAN] / [Wake On LAN（ネットワークスタンバイモード）]を設定します。
- 有線/無線ネットワークごとに[オン]または[オフ]に設定できます。
- [有線ネットワーク接続]：[オン]に設定すると、[Wake On LAN] / [Wake On LAN（ネットワークスタンバイモード）]機能が有効になり、有線ネットワークを通してリモートで製品の電源をオンにできます。
- [無線]：[オン]に設定すると、[Wake On LAN] / [Wake On LAN（ネットワークスタンバイモード）]機能が有効になり、無線ネットワークを通してリモートで製品の電源をオンにできます。

[電源インジケータ]

- [電源インジケータ]の設定を変更できます。
- [オン]に設定すると、[電源インジケータ]がオンになります。
- [オフ]に設定すると、[電源インジケータ]がオフになります。
- [電源インジケータ]の設定が[オン]か[オフ]かに関係なく、[電源インジケータ]は約15秒間オンになります。

[電源オン/オフ履歴]

デバイスの電源オン/オフ履歴を表示します。

[ネットワーク]

SETTINGS /  → [一般] → [ネットワーク]

[有線ネットワーク接続]

- 有線ネットワーク接続：LANポートからモニターをローカルエリアネットワーク（LAN）に接続し、ネットワーク設定を行います。有線ネットワーク接続のみサポートされています。ほとんどの場合、モニターをネットワークに物理的に接続すれば、ほとんどのネットワークでは調整なしで自動的に接続されます。ただし、一部のネットワークでモニターの設定が必要になる場合があります。詳細については、インターネットプロバイダーに問い合わせるか、ルーターのマニュアルを参照してください。
- 802.1X EAP：有線接続では、IEEE 802.1Xに基づく認証を利用できます。希望のEAPタイプと2段階認証を選択し、認証サーバーに登録されているID/パスワードを入力し、「接続」ボタンを押して接続を試行してください。

[無線ネットワーク接続]

無線ネットワークを設定します。接続可能な無線インターネットネットワークが表示されて、接続することが可能になります。

- [非表示の無線ネットワークを追加]：名前を手動で入力して無線ネットワークを追加できます。
- [WPS-PBCで接続]：PBCをサポートしている無線ルーターのボタンを押して、ルーターに簡単に接続できます。
- [WPS-PINで接続]：PINをサポートしている無線ルーターのWebページでパスワードを入力してルーターに接続します。
- [Wi-Fi詳細設定]：接続された無線ネットワークの設定を変更できます。

[証明書のダウンロード]

- USBに保存されている802.1X EAPに使用される証明書をダウンロードします。
- ダウンロードできるのは拡張子がpemのファイルのみです。



ヒント

- Wi-Fi ドングルがサポートされているモデルでは、Wi-Fi ドングルが接続されているときにのみ、無線ネットワーク接続メニューを使用できます。
- IPv6対応のネットワークに接続すると、有線/無線ネットワークでIPv4またはIPv6を選択できます。ただし、IPv6接続は自動接続にのみ対応しています。

[LANダイジーチェーン]

- LANポートのダイジーチェーンを構成します。モニターのうちひとつをネットワークに接続すると、ダイジーチェーンで接続されている他のモニターもネットワークに接続されます。
- ただし、ダイジーチェーンの最初のモニターセットは、ダイジーチェーン接続で使用されていないポートを通してネットワークに接続する必要があります。

[SoftAP]

このモニターをアクセスポイントにして、無線ルーターがなくても他のデバイスをこのモニターにWi-Fi接続させて、無線でのインターネットを使用できるようにします。

- SoftAPとScreenShare機能は同時に使用できません。
- Wi-Fi Dongleがサポートされているモデルでは、Wi-Fi Dongleを本製品に接続しているときのみ、SoftAPメニューを使用できます。
- Wi-Fiチャンネル：Wi-Fiチャンネルを直接選択できます。
- SoftAPアクセス情報
 - SSID：無線インターネット接続に必要な固有の識別子
 - セキュリティキー：目的の無線ネットワークに接続するために入力するセキュリティキー
 - 接続デバイス数：無線ネットワーク接続でサイネージデバイスに接続されているデバイスの数を表示します。最大10個のデバイスまでサポートされています。

[UPnP]

UPnPで使用するUDPポート1900のオープンまたはブロックします。

- デフォルトは[オン]です。この機能を[オフ]に設定すると、UDPポート1900がブロックされ、UPnP機能を使用できなくなります。
- この機能を[オフ]に設定すると、同期モードの「ネットワーク」オプションが無効になります。同期モードを「ネットワーク」に設定すると、値が「オフ」に切り替わり、「ネットワーク」オプションが無効になります。
- UPnP値を変更すると、[再起動]まで変更は適用されません。
- UPnPを[オフ]に設定すると、Group Manager 2.0は正常に使用できません。

[pingテスト]

pingテストでネットワークの状態を確認します。

[ポート制御]

未使用ポートは、ネットワークセキュリティのためにブロックすることができます。

[接続ドメイン]

ネットワーク接続を確認するためのドメインを変更します。



ヒント

- 設定を正しく適用するにはロボットを推奨します。

ネットワーク設定のヒント

- このモニターを有線接続する場合は、標準的なLANケーブル（RJ45のカテゴリ-5以上）を使用してください。
- 設定中のネットワーク接続に関する問題は、ルーターやモデムを初期化することで修正することがあります。モニターをネットワークに接続した直後に、ルーターやモデムの電源をオフにして、再起動してください。
- インターネットサービスプロバイダー（ISP）によっては、インターネットサービスの接続数が、サービス条件によって制限されている場合があります。詳細については、ISPに問い合わせてください。
- インターネット接続またはその他の接続機器に起因する通信エラーや不具合によって発生したモニター、インターネット接続機能に関する誤作動は保証の対象外になります。
- インターネット接続に関する問題は保証の対象外になります。
- ネットワークの回線速度がコンテンツの動作に必要な速度を満たしていない場合、コンテンツが正常に動作しない場合があります。
- インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダー（ISP）が特定の制限を設けている場合、特定のインターネット接続ができないことがあります。
- ISPにかかる費用（接続料またはそれ以外の費用）は、お客様がご負担ください。

ヒント

- モニターからインターネットに直接接続する場合は、インターネット接続を常にオンにする必要があります。
- インターネットに接続できない場合は、同一のネットワークに接続されているPCでネットワーク状態を確認します。
- [ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワークが適切に機能しない場合があります。

注意

- 電話のモジュラーケーブルをLANポートに接続しないでください。
- さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーの規定に従ってください。
- ネットワーク設定メニューは、モニターがネットワークに接続されるまで使用できません。

無線ネットワーク設定をいつ構成するかについてのヒント

- 無線ネットワークは周波数2.4 GHzで動作している他のデバイス（モバイル端末、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、他のWi-Fiデバイスと同様に、5GHzの周波数を使用するデバイスにより干渉を受ける可能性もあります。
- 周囲の無線環境によって無線ネットワークサービスの動作が遅くなる場合があります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部のデバイスでネットワークトラフィックが発生することがあります。
- 無線ルーター接続の場合は、無線接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要です。また、無線接続機能をデバイスで有効にする必要があります。ユーザーのアクセスポイントで無線接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダーに問い合わせてください。
- 無線ルーターについて、SSIDとセキュリティ設定を確認してください。SSIDとセキュリティ設定については、無線ルーターのマニュアルを参照してください。
- ネットワークデバイス（有線/無線ルーターやハブ等）の設定に誤りがある場合、モニターが正常に動作しない場合があります。ネットワーク設定を行う前に、無線ルーターの取扱説明書を参照して、正しく設置されていることを確認してください。
- 接続方法は、無線ルーターのメーカーによって異なる場合があります。

[安全モード]

SETTINGS /  → [一般] → [安全モード]

安定的にモニターを使用するための機能を設定します。

[ISM方式]を参照

静止画像が長時間画面上で表示されると、画面の焼き付きが発生する可能性があります。ISM方式は、画像の焼き付きを防ぐ機能です。

[モード]

- [ISM方式]モードを設定します。
- [オフ]：明るさコントロール機能を無効にします。
- [周回機]：画面上の残像を防止するため、画面の位置を一定の順序で4ピクセルずつ移動します。（この機能は屋外用モデルのみ対応します。また、入力信号がないときは、設定できません。）
- [ホワイトウォッシュ]：残像を除去するためにホワイトパターンを表示します。
- [ユーザー画像]：USBストレージデバイスにある写真または動画を再生します。
- [ユーザー動画]：USBストレージデバイスを使用して写真または動画を再生します。

毎日繰り返し

- [1回だけオフ]：このモードを選択して完了をクリックすると、ISM機能がすぐに実行されます。
- [オン]：同じ静止画像がスタンバイに設定された時間表示されていると、ISM機能が設定された時間実行されます。
- [オン（動作検出あり）]：[周回機]モード有効時のみ適用されます。[スタンバイ]時間に静止画像が残る場合、残像防止機能は、[時間]に対して動作します。
- [オン（動作検出なし）]：[周回機]モード有効時のみ適用されます。[完了]ボタンをタップすると、残像防止機能が直ちに適用され、継続的に動作します。
- [Schedule（スケジュール）]：設定した開始時刻から終了時刻までの間にISM機能を有効化します。

[スタンバイ]

- 1～24時間の範囲で設定できます。
- このオプションは、[繰り返し]を[予約]に設定した場合にのみ使用できます。
- 同じ静止画像が一定の時間表示されていると、ISM機能が実行されます。

[時間]

- 1～10分、20分、30分、60分、90分、120分、180分、240分から選択できます。
- このオプションは、[繰り返し]を[予約]に設定した場合にのみ使用できます。
- 設定された期間、ISM機能が実行されます。

[日を選択]

- 日付を設定できます。
- このオプションは、[繰り返し]を[予約]に設定した場合にのみ使用できます。

[開始時刻]

- ・ 開始時刻を設定します。
- ・ このオプションは、[繰り返し]を[予約]に設定した場合にのみ使用できます。
- ・ 開始時刻と終了時刻に同じ時間を設定することはできません。

[終了時刻]

- ・ 終了時刻を設定します。
- ・ このオプションは、[繰り返し]を[予約]に設定した場合にのみ使用できます。
- ・ 開始時刻と終了時刻に同じ時間を設定することはできません。

[アクションサイクル]

1～10分、20分、30分、60分、90分、120分、180分、240分から選択できます。

- ・ このオプションは、[周回機]が選択されている場合のみ使用できます。
- ・ [周回機]：画面は、設定された間隔ごとに移動します。

[ユーザー画像のダウンロード]

- ・ 画像をダウンロードする場合、USBストレージデバイスのISMフォルダーに画像が存在する必要があります。
- ・ 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、内蔵メモリーに保存されている既存の画像を削除してください。
- ・ サポートされているファイルフォーマット：BMP、JPG、JPEG、PNG
- ・ 画像は最大4つまでダウンロードできます。（最大解像度は1920 x 1080です）
- ・ バー画像が削除されたり、存在しない場合は、デフォルトの画像が使用されます。（デフォルトの画像は白い背景です。）
- ・ このオプションは、[ユーザー画像]が選択されている場合のみ使用できます。

[ユーザー動画のダウンロード]

- ・ 動画をダウンロードする場合、USBストレージデバイスのISMフォルダーに動画ファイルが存在する必要があります。
- ・ 新しいコンテンツファイルをダウンロードする前に、内蔵メモリーに保存されている既存の動画を削除してください。
- ・ サポートされているファイルフォーマット：“MP4”、“AVI”、“FLV”、“MKV”、“MPEG”、“TS”
- ・ ダウンロードできる動画は1つだけです。
- ・ 動画が削除されたり、存在しない場合は、デフォルトの動画が使用されます。（デフォルトの動画は白い背景の画像です）
- ・ このオプションは、[ユーザー画像]が選択されている場合のみ使用できます。

* ユーザー画像/ユーザー動画をリセットまたは削除する方法

- ・ **SETTINGS / ⚙ > [管理者] > [初期化]**の順に選択して、リセットします。
- ・ プレーヤーアプリを開き、画面右上にある削除ボタンをクリックして、ダウンロードされた画像/動画を削除します。

[画面エラーの検出]

- 画面エラー検出機能は、画面の端に異常があるかどうかを判定します。パネルの左上隅にR、G、B OSDが約1秒間隔で作成され、次に、ピクセルセンサーがその領域を確認します。
- [オン]に設定すると、画面エラー検出機能が有効になります。
- [オフ]に設定すると、画面エラー検出機能が無効になります。

[詳細設定]

SETTINGS /  → [一般] → [詳細設定]

[ビーコン]

- この機能により、Bluetooth 4.0の機能の1つであるBLEビーコンが有効になります。
- ビーコンモード（オン/オフトグル）：ビーコン機能を有効にします。
- LGビーコン/iBeacon/Eddystoneタイプビーコン機能がサポートされています。
- iBeacon
 - ビーコンUUID（16進）：UUIDを設定します。
 - 1.Field1：4バイト16進値（8桁）
 - 2.Field2：2バイト16進値（4桁）
 - 3.Field3：2バイト16進値（4桁）
 - 4.Field4：2バイト16進値（4桁）
 - 5.Field5：6バイト16進値（12桁）
 - メジャー（0～65535）：メジャー値を設定します。
 - マイナー（0～65535）：マイナー値を設定します。
- Eddystone
 - フレーム：UUIDまたはURLを設定します。
- 1.UUID方式の設定
 - ビーコンUUID（16進）：UUIDを設定します。
 - 1～Field1：10バイト16進値（20桁）
 - 2～Field2：6バイト16進値（12桁）
- 2.URL方式の設定
 - URLプレフィックス：URLのプレフィックスを設定します。
 - URLサフィックス：URLのサフィックスを設定します。
 - URL経由で再生URL：プレフィックスとサフィックスを除いたURLの一部を入力します。
 - URL文字列の長さは15文字に制限されています。
- [確認]ボタン：ビーコン設定を完了し、適用するときに使用するボタン。

✔ ヒント

- モデルによっては、iOSのバックグラウンドスクリーニングサービスをサポートしていません。
- 設定を正しく適用するにはロボットを推奨します。
- UUID値は16進数であり、正確な桁数を入力する必要があります。
- モデルによってはビーコンの距離が異なる場合があります。
- デバイスで使用するアプリケーションによっては、ビーコンの距離が異なる場合があります。
- ビーコン機能はBluetooth Low Energy (BLE) 技術を使用しているため、電波干渉の影響を受けます。周波数範囲が2.4GHzの場合は機能しないことがあります。
- iBeaconを設定すると、LG Beaconは、iBeaconフィールドの値と同じになるように設定されます。ただし、LG Beaconの設定項目は別に提供されません。

[制御インターフェイス]

ディスプレイに接続されるデバイスをインターフェイス経由で制御することができます。

- [PC/OPSのオン/オフ]：ディスプレイのオンとオフを切り替えながら、PCまたはOPSの電源を制御できます。
 - [無効化]：モニターのオン、オフに連動して、PCやOPSの電源をコントロールします。
 - [同期（オン）]：モニターの電源をオンにしたとき、PC、OPSの電源もオンになるように設定します。
 - [同期（オン/オフ）]：モニターの電源をオンにしたときにPC、OPSの電源もオンに、モニターの電源をオフにしたときは、PC、OPSの電源がオフになるよう設定します。
- [設定インターフェイスの選択]：モニターと接続されるデバイスの間のシリアル通信パスを選択します。
 - [表示]：モニターのRS-232C IN端子から、シリアル通信が利用可能です。
 - [OPS]：モニターに接続されたOPSから、シリアル通信が利用可能です。
 - [HDBaseT]：HDBaseT機器を経由して、シリアル通信が利用可能です。

✔ ヒント

- モデルにより、[PC/OPS設定]として表示される場合があります。
- サポートされるインターフェイスにより、[設定インターフェイスの選択]のサブメニューが異なる場合があります。
- 電源制御をサポートするPC製品はMP500/MP700です。お求めは、販売代理店にご相談ください。
- [設定インターフェイスの選択]を選択すると、[同期モード]の[RS-232C同期]機能が制限される場合があります。

[背景画像]

背景画像が設定できます。

- ・[起動のロゴ画像]：起動時に表示されるロゴ画像を変更します。[オフ]に設定すると、起動時にロゴは表示されません。ストレージデバイスに画像ファイルをダウンロードしたり、初期化を行います。
- ・[無信号の画像]：映像信号がないときに表示される画像を変更します。[オフ]に設定すると、信号がないときはなにも表示されません。ストレージデバイスに画像ファイルをダウンロードしたり、初期化を行います。

✔ ヒント

- ・画像をダウンロードする場合、画像ファイルを外部メモリ（USB）の「LG_MONITOR」または「lg_monitor」という名前のフォルダーに入れてください。
- ・サポートされているファイルフォーマット：「BMP」、「JPG」
- ・ダウンロード可能な最大解像度は、モデルに応じて次の通りです。
- ・サインネージLEDモデルは起動ロゴ機能をサポートしません。
- ・無信号画像のダウンロード可能な最大解像度は、モデルパネルの解像度と同一です。

	起動のロゴ画像	信号なしの画像
Full HD	1920 x 1080	1920 x 1080
Ultra HD	1920 x 1080	3840 x 2160
86 "Ultra Stretch	1920 x 300	3840 x 600
88 "Ultra Stretch	1920 x 540	3840 x 1080

[入力マネージャー]

外部入力ごとに PC または DTV ラベルを設定できます。

[SIMPLINKの設定]

- ・[SIMPLINKの設定]を[オン]に設定すると、LG Signageが提供するSIMPLINKが使用できます。
- ・[デバイスID]：CEC配線で接続されたデバイスのIDを設定します。[すべて]と[E]の間の値を選択できます。
- ・[スタンバイ]：スタンバイコマンドを送受信するシナリオを設定します。詳細なシナリオは以下のとおりです。

	放送	受信
すべて	○	○
送信のみ	○	×
受信のみ	×	○

[ディスプレイ電源（オン/オフ）同期]

（モデルに応じて異なります）

（この機能はサイネージボックスのみでサポートされます）

- これはHDMI出力に接続されたディスプレイの電源を制御し、サイネージボックスの電源と同期させる機能です。
- サイネージボックスの電源がオフからオンに変わると、ディスプレイの電源をオンにし、入力をサイネージボックスの画面に切り替えるよう試みます。
- サイネージボックスの電源がオンからオフに変わると、ディスプレイの電源をオフにします。
- [オン/オフ]：この機能を有効/無効にします。

✔ ヒント

- ディスプレイのCEC機能を有効にする必要があります。

[Crestron]

（モデルに応じて異なります）

Crestron Connected V1

- Crestron社のアプリケーションと同期することができます。
- サーバー：Crestron社のサーバーとのネットワーク接続に使用するサーバーのIPアドレスを設定します。
- ポート（1024～65535）：サーバーとのネットワーク接続に使用するポート番号を設定します。初期のポート番号は41794です。
- IP ID（3～254）：アプリケーションとの同期に使用される固有のIDを設定します。

Crestron Connected V2

- サーバー種類の接続ステータスが画像やテキストで表示されます。（接続解除、接続中、接続済）
- 種類：接続するサーバーの種類を選択できます（オフ、Control System、Virtual Control、Fusion）
- 接続：ボタンを押すと、機器はサーバーへの接続を試み、ボタンのテキストはDISCONNECT（接続解除）へ変化します。この場合、上部のアイテムは変更できなくなります。接続を解除して上部のアイテムを変更する場合は、もう一度ボタンを押してください。
- サーバーとの接続に関する情報
 - 種類：Control System
 - サーバー：サーバーのIP情報
 - ポート：サーバーのポート情報
 - IP ID：Crestron機器とサーバーを区別できるようにする、一意のIDです。
 - 種類：Virtual Control
 - ルームID：ルームとサーバーを区別できるようにする、一意のIDです。IP IDが同じでもルームIDが異なる場合は、サーバーは別のCrestron機器として認識されます。
 - サーバー、ポート、IP IDはControl Systemと同じです。

- 種類：Fusion
 - 方式：接続方向を選択できます。（デバイスからFusionへ、Fusionからデバイスへ）
 - デバイスからFusionへ：セットからサーバーへの接続
 - URL：サーバーのURL
 - ポート：サーバーのポート
 - Fusionからデバイスへ：サーバーからセットへの接続
- 自動検出：ネットワーク内で他のCrestron機器を自動的に検出します。
- SSL：サーバーとのセキュアな通信を確立します。以下のアイテムはSSLでのみ意味を持ちます。
 - ユーザー、パスワード：サーバーで認証機能をオンにすると、サーバーとの接続時にユーザー名とパスワードが必要になります。
 - 証明書の確認：サーバーにインストールされた証明書が有効であるかを確認する機能です。有効でない場合は、サーバーへ接続しません。
 - 証明書のダウンロード：証明書の確認機能を実行するには、機器で証明書を保存する必要があります。USBのルートディレクトリに保存されている、.pemと.crt拡張子の証明書のみが認識され、メニューから追加または削除できます。工場初期化の時点で保存されていた証明書はすべて削除されます。

XiO Cloud

- XiO Cloud接続ステータスが表示されます。（接続解除、接続中、接続済）
- 接続：ボタンを押すと、機器はサーバーへの接続を試み、ボタンのテキストはDISCONNECT（接続解除）へ変化します。接続を解除するには、ボタンをもう一度押す必要があります。

[LEDコントローラー]

特定のLEDディスプレイメーカーに、リンクされたディスプレイの一部の機能を遠隔に制御することを許可します。

[USB2 → HDBaseT]

この機能は、ディスプレイのUSB2端子から受信したデータをHDBaseTに転送します。

- [オン]：USB2に接続されるデバイスのデータをHDBaseT機器に転送します。
- [オフ]：HDBaseT機器のデータをSignageに転送します。

ヒント

- 設定が変更されるとき、HDBaseT機能は一時的に中断されます。

[静音モード]

このモードは、ファンのノイズを低減するために使用されます。

設定されたファン制御と明るさに調整されます。

[LG promota]

この機能を使用して、モバイルデバイス上のpromotaアプリに接続できます。

使用方法の詳細は、promotaのウェブサイト（<https://www.promota.net/>）をご覧ください。

自動起動promotaアプリ機能により、起動後に自動的にpromotaが実行されます。

[ポインター設定]

画面に表示されるポインターの移動速度と大きさを好みに設定できます。

- 速度：ポインターの移動速度を設定できます。
- ポインターのサイズ：ポインターのサイズを設定できます。

ディスプレイ

[映像モード]

SETTINGS /  → [表示] → [映像モード]

[モード]

使用する環境に対する最適な映像モードを選択できます。

- [モール/QSR]、[交通]、[教育]、[官公庁/企業]：それぞれの環境に適した画質で表示します。
- [機器設定]：映像を標準的なコントラスト、明るさ、シャープネスで表示します。
- [自動電源保存]：画面の明るさを調整して、電力消費を抑えます。
- [シネマ]、[補正]：上級者やお好みの画質で楽しみたい方は、画質を個別に設定できます。
- [病院]：医療画像に最適化された画像設定モード。

ヒント

- 選択できる[映像モード]は、モデルまたは入力信号によって異なります。
- [シネマ]は、映像品質の上級者が特定の映像を使用して画質を微調整できるオプションです。一般的な映像では効果が感じられない場合があります。

[HDR]

使用する環境に対する最適な映像モードを選択できます。

- [モール/QSR]：コントラスト、明るさおよびシャープネスを増加させることにより、画像を鮮明にします。
- [機器設定]：通常の表示環境において、HDRの表現能力と明るさを適切に表示できる画面を開きます。
- [官公庁/企業]：画面は一般的な画面よりも明るく、鮮明になります。
- [教育]：ゲームプレー用の画像に適しています。

[3D効果]

- [バックライト]：バックライトの明るさを調整して、画面の明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [有機EL輝度]：LEDパネルの明るさを調整して、画面の明るさを制御します。
- [LEDライト]：LEDバックライトを調整することにより、画面の明るさを調整します。値を大きくすると明るくなります。
- [コントラスト]：映像の明暗の差を調整します。値が100に近づくほど、差が大きくなります。
- [明るさ]：画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]：映像のシャープネスを調整します。値が50に近づくほど、輪郭や境界線が強調されてシャープな映像になります。
- [色]：画面の色合いを柔らかく、または深くします。値が100に近づくほど、色が濃くなります。
- [色合い]：画面に表示される赤レベルと緑レベルのバランスを調整します。赤の値が50に近づくほど赤が濃くなります。緑の値が50に近づくほど緑が濃くなります。
- [色温度]：色温度を高く設定するほど、画面の色合いが寒色で、低く設定するほど暖色で表示されます。
- [詳細設定] / [プロ設定]：お好みに合わせて色合いを細かく調整することができます。
 - [ダイナミックコントラスト]：画面の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を最適化します。
 - [超解像]：ぼやけて表示される低解像度の映像を高解像度化させて高精細な映像で表示させます。
 - [色域]：表示が可能な色の範囲を選択します。
 - [ダイナミックカラー]：よりあざやかで明るい表示になるように画像の色合いと彩度を調整します。
 - [カラーフィルター]：RGB空間の中で特定色域だけをフィルタリングして、カラーゲインと色合いを正確に調節します。
 - [色補正]：好みに合わせて肌の色合い、草木の色合い、空の色合いを調整します。
 - [ガンマ]：入力信号の明るさを補正するようにガンマ設定を調整します。
 - [ホワイトバランス]：リンクに対して画面の全体色忠実度を調整します。[エキスパート]モードでは、[方式]または[パターン]を使用して映像を微調整できます。
 - [カラーマネジメント]：テストパターンを使用して色の濃さを調整する際に、カラーマネジメントシステムを使用します。カラーマネジメントシステムは、他の色に影響を及ぼすことなく、6種類の色（赤/黄/青/シアン/マゼンタ/緑）それぞれを調整できます。一般的な映像の場合、色の変化を感じられない場合があります。
 - [ダイナミックトーンマッピング]：HDRコンテンツの画像の明るさに基づくコントラスト設定に適しています。

- ・ [映像設定]：映像オプションをカスタマイズします。
 - [CamSync (V-Sync)]：カメラ撮影中に発生することのあるスキャンラインのアーチファクトを軽減します。LEDの出力フレームを微調整できます。この機能の使用中は、Genlock、Phase Shift、フレーム操作機能は使用できません。（一部のLEDモデルで対応）
 - [ピクチャーノイズリダクション]：映像が明瞭に見えるように、ランダムにポップアップしたドットを削除します。
 - [MPEGノイズリダクション]：デジタル動画信号を作成するプロセスで生成されるノイズを軽減します。
 - [黒レベル]：画面の黒レベルを調整して、画面の明るさとコントラストを調整します。
(入力設定に基づく推奨設定：バックライト 0～255 高、RGB 16～235：低、YCbCr：低)
 - [リアルシネマ]：動画を映画のような映像に最適化します。
 - [アイケア]：目の負担を抑えられるよう、映像の情報に基づいて明るさの調整と、映像のブレを軽減させます。
 - [バックライト]：画面の明るい部分を明るく、暗い部分を暗くして、コントラストを最大にします。この機能を[オフ]に設定すると、モニターの電力消費が増加することがあります。
 - [TruMotion]：映像の動きにより発生する可能性のある映像の揺れや残像を低減します。（[外部入力の回転]を設定した場合、この機能は利用できません。）
- ・ [すべての入力に適用]：詳細設定メニューの現在の値を入力全体にコピーし、選択した映像モードにのみ適用します。
- ・ [初期化中]：映像設定を初期化します。映像設定は映像モードごとに初期化されるので、初期化する映像モードを選択してから実行してください。

[画面サイズ]

SETTINGS / ⚙️ → [表示] → [画面サイズ]

映像サイズを変更して映像を最適な解像度で表示できます。

- [FullWide]：映像を画面全体に表示します。
- [オリジナル]：映像をオリジナルの解像度で表示します。

[回転]

SETTINGS / ⚙️ → [表示] → [回転]

[画面の回転]

- 画面を時計回りに回転させます。
- [オフ/90/180/270]に設定できます。
- オフに設定すると、この機能は無効になります。
- [ポートレート]モード用のコンテンツを使用することを推奨します。
- 画面の回転が有効になっていると、マルチ画面のPIPモードは利用できません。

[外部入力回転]

- 画面を時計回りに回転させます。
- [オフ/90/180/270]に設定できます。
- ARCについて、この機能が[オン]（90度または270度）に設定されると、映像は[FullWide]になるようサイズ変更されます。
- WiDiを使用中に[外部入力回転]を有効にすると、マウスカーソルの位置が正確に表示されない場合があります。
- 外部入力の使用中に[外部入力回転]を有効にすると、映像の品質が劣化する場合がありますが、モニターの不具合や故障ではありません。
- [外部入力回転]を[オン]に設定すると、[マルチ画面]のPIPモードは無効になります。
- タッチをサポートするモデルで[外部入力回転]を有効にすると、タッチが正常に動作しない場合があります。
- Ultra Stretch製品を最適な画質で使用するために、ユーザーマニュアルの「コンテンツの作成と使用ガイド」を参照してください。
- Ultra Stretch製品の場合、コンテンツ作成および製品設定の状態（画面の分割/回転）により、コンテンツの画質が劣化する可能性があります。

[ミラーモード]

- 画面を180度回転するように設定します。

[詳細設定]

SETTINGS /  → [表示] → [詳細設定]

[4K ディープカラー]

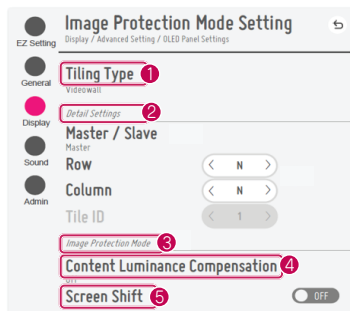
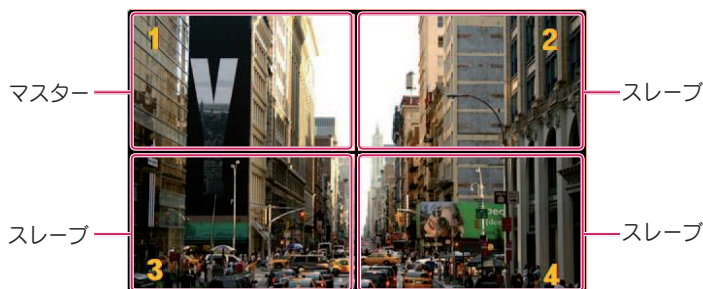
HDMI、DisplayPort、OPSをいずれかのディープカラー対応のポートに接続すると、[4Kディープカラー]設定メニューから、4Kディープカラーの[オン (6G)]または[オフ (3G)]が選択できます。

3840 x 2160 @ 60 Hzで[ディープカラー]が[オン]に設定した際に、グラフィックカードとの互換性の問題が発生した場合、[ディープカラー]を[オフ]に戻してください。

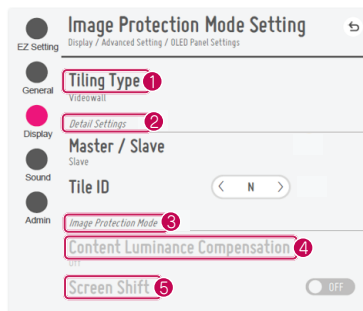
- HDMI、DisplayPort、OPSの仕様は、入力ポートによって異なる場合があります。接続する前に、接続デバイスの仕様を確認してください。
- HDMI入力ポート1、2は、4K@60 Hz (4:4:4、4:2:2) の高解像度動画に最適です。ただし、外部デバイスの仕様によっては、映像または音声サポートされていない場合があります。この場合は、デバイスを別のHDMIポートに接続してください。
- この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

[有機ELパネルの設定]

- [パネルノイズクリア]：OLED(有機EL)モニターの電源を長時間オンにしたときに発生する可能性がある問題を対策します。
- [Screen Protection Mode Setting]：この機能は、画面上の残像を防止するために、外部入力からの画像の特性を分析します。



マスターが選択されているとき



スレーブが選択されているとき

番号	項目	説明
①	[タイルの種類]	サイネージの設置タイプに応じて、モードを選択・設定します。 ・スタンダードローン：1台の装置のみを使用するとき、このモードを選択します。 ・ビデオウォール：2台以上のマルチ画面を構成するとき、このモードを選択します。このモードには、プロ設定が必要です。
②	[詳細設定]	マスターまたはスレーブを選択します。 ・マスターが選択されているとき：マルチ画面全体の行数と列数を入力します。 ・スレーブが選択されているとき：個別セットのマルチタイルID番号を入力します。
③	[Screen Protection Mode]	コンテンツ補正レベルを設定し、画面切替機能を使用するか設定できます。 ・④ [コンテンツ輝度補正]：使用する高または低補正レベルを選択します。 ・⑤ [スクリーンシフト]：画面切替機能を使用するか設定します。

[映像省エネ設定]

- ・[スマート省エネモード]：映像の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整することで消費電力を抑えます。
 - [オン]：[スマート省エネモード]機能を有効にします。
 - [オフ]：[スマート省エネモード]機能を無効にします。
- ・[明るさコントロール]：画面の明るさを調整することで消費電力を抑えます。
 - [自動]：周囲光に応じて、画面に輝度を自動的に調整します。
 - [オフ]：省エネ機能を無効にします。
 - 最小/中/最大：モニターで設定された省エネレベルを適用します。
- ・[輝度範囲の調整]：照度センサーにより調整されるバックライトの輝度範囲の最小/最大値に設定します。
 - [バックライト最小]：バックライトの最小値を設定します。
 - [バックライト最大]：バックライトの最大値を設定します。
- ・[明るさの予約]：指定の時刻にバックライトを調整します。
 - この機能は[オン/オフ]に設定できます。
 - 予約時間とバックライト/OLEDライト/LEDライトの値を設定して、予約を追加します。
 - 現在の時刻が設定されていなければ、[明るさの予約]は使用できません。
 - 6つまで予約の設定ができます。予約は時刻の昇順に並べられます。
 - 予約の編集は、リストから予約を選択して[OK (決定)]ボタンを押します。

✔ ヒント

- ・[管理者] > [工場初期化] をクリックして、デフォルト設定に戻します。

[スマート輝度補正]

明るさの値は3,000 nitに調整され、輝度を低下させずに長時間連続して使用できます。
(49/55XE4Fモデルのみ)

[HDMI ITコンテンツ]

HDMI ITコンテンツ機能を設定します。

- ・ [オフ] : HDMI ITコンテンツ機能を無効にします。
- ・ [オン] : HDMI ITコンテンツ機能を有効にします。

この機能は、HDMI信号が入力されるとHDMIコンテンツ情報に基づき、モニターの映像モードを自動的に変更します。

モニターの映像モードがHDMI ITコンテンツ機能によって変更された場合でも、映像モードを再度手動で変更できます。

ユーザーによって設定された映像モードよりも優先度が高いため、HDMI信号が変更されると既存の映像モードも変更されることがあります。

[色の校正]

実際の色温度に一致するように画面の色を設定します。

- ・ [オフ] : 色の構成機能を無効にします。画面の色はデフォルト値に設定されています。
- ・ [オン] : 色の構成機能を有効にします。画面の色は、実際の色温度に一致するように設定されています。

ヒント

- ・ この機能を有効または無効にすると、画面の色が変わる場合があります。
- ・ 画像モードが「キャリブレーション」の場合、この機能は利用できません。

[LED部分制御]

画面の明るい部分を明るく、暗い部分を暗くして、コントラストを最大にします。

ヒント

- ・ [管理者] > [工場初期化] をクリックして、デフォルト設定に戻します。

[低遅延]

LEDサイネージのフレーム遅延を減らします。

[工場校正]

LEDサイネージの工場出荷時のピクセルキャリブレーションデータを取得し、画面に反映します。キャリブレーションは、初期インストール中に一度行う必要があります。また、LDMを再配置または交換するときにも実行する必要があります。

[ゲンロック]

ゲンロック信号がREF INポートに接続され、ゲンロック機能がオンになっている場合、モニターはビデオ信号同期機能を使用できます。

- ・ [しない] : ゲンロックは無効です
- ・ [オン] : ゲンロックは有効です

ヒント

- ・ ビデオソース機器のゲンロック設定は、LEDシステムコントローラーのゲンロックよりも重要です。
- ・ モデルによっては、この機能がサポートされていないことがあります。

[Phase Shift]

Phase Shiftを使用して、LEDモニターの出カタイミングを調整できます。

カメラで録画すると二重画像（ダブルフレーム）が生まれる場合、Phase Shiftを使用してLEDモニターのタイミングを手動で調整し、視覚的アーチファクトを排除できます。

- ・ 範囲：0～360。
 - 0：Phase Shiftを使用しない
 - [フレームコントロール]を使用する場合：
 - * 1：1/360フレームの遅延を追加
 - * 180：1/2フレームの遅延を追加
 - [フレームコントロール]を使用しない場合：
 - * 1：1+1/360フレームの遅延を追加
 - * 180：1.5フレームの遅延を追加

✓ ヒント

- ・ LEDモニターよりもカメラをSync Shiftさせたほうが、視覚的アーチファクトを排除しやすくなります。（例：ARRIカメラのSync Shift）

10



10

カメラがダブルフレーム画像を取得

カメラがシングルフレーム画像を取得
：Phase Shiftは微調整できます

- ・ ゲンロック、位相シフト、フレーム操作は個別に使用できます。
- ・ CamSync（V-Sync）機能は、ゲンロック、位相シフト、フレーム操作のいずれかの機能を使用している場合は、使用できません。（一部のLEDモデルで対応）
- ・ フレームコントロール：低レイテンシモードを有効にすると、1フレームの遅延を追加することで、合致するLED画面で使用できます。[しない]：1フレームの遅延を追加しません。
[オン]：1フレームの遅延を追加します。

✓ ヒント

- ・ この機能は、LEDアシスタントソフトウェアでのみサポートされます。
- ・ この機能は、低レイテンシモードを有効にすると、使用できるようになります。
- ・ 低レイテンシモードは、外部入力ケーブルが[PC]に設定されているか、[映像モード]が[教育]に設定されている場合に、有効になります。
- ・ [フレームコントロール]機能は、モデルによってはサポートされていない場合があります。

ビデオ出力解像度

SETTINGS / ⚙ → [表示] → [ビデオ出力解像度]

webOS BOXの解像度を設定できます。

画面保護モードの設定方法

- ・ [画面保護モード設定]：外部入力画像の特性を分析して、画面上の残像を防ぎます。
- ・  (設定) → [表示] → [プロ設定] → [有機ELパネルの設定] → [画面保護モード設定]

ステップ1：[画面保護モード設定]の設定

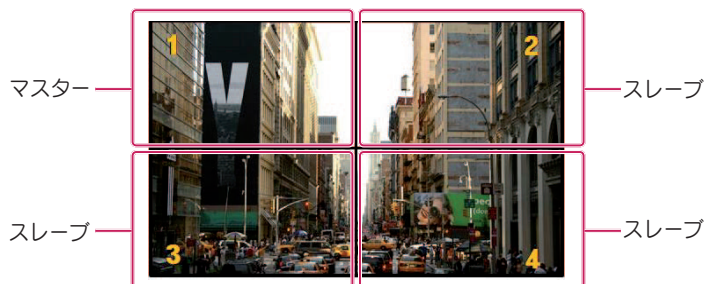
1台のモニターを使用する場合

- 1 ビデオウォールモード：[スタンドアローン]を選択します。
- 2 コンテンツの明るさ補正：[オフ]/[低]/[強]からいずれかを選択します。
- 3 画面シフト：有効または無効を選択します。

ヒント

- ・ 外部入力画像の場合、[画面保護モード]機能は使用できません。
 - USBデバイスに保存された画像ファイルを再生する場合、[画面保護モード]機能は使用できません。
 - インターレース信号を表示している場合、[画面保護モード]機能は使用できません。
 - [外部入力の回転]が設定されているとき、[画面保護モード設定]メニューはサポートされません。
 - [ポートレート]モード用のコンテンツを使用することを推奨します。
- ・ 再生時間が10分間のコンテンツを使用することをお勧めします。(10分以上のコンテンツを使用した場合、[画面保護モード]機能が正常に動作しない可能性があります。)
- ・ [画面保護モード]機能が正常に機能しない場合は、外部入力プレーヤーまたは使用しているグラフィックカード(チップ)のテザリング機能をオフに切り替えてください。
- ・ [画面保護モード]機能を有効にするために、コンテンツのパターンの認識に時間がかかります。(時間はコンテンツの時間の長さによって異なります)

ビデオウォールモードを使用する場合



- 1 ビデオウォールモード：[ビデオウォール]を選択します。
- 2 マスター/スレーブ：左上モニターの場合は[マスター]、それ以外の場合は[スレーブ]を選択します。
- 3 [行]、[列]
 - マスターモニター：[タイルモード]での設定を同じ設定を使用して、[行]と[列]を設定します。
 - スレーブモニター：スレーブモニターを無効にします。
- 4 マルチタイルID
 - マスターモニター：マスターモニターを無効にします（タイルID 1として自動的に設定されます）。
 - スレーブモニター：インストール時と同じ順序でタイルID 2以降を設定します。
- 5 コンテンツの明るさ補正：[オフ]/[低]/[強]からいずれかを選択します。
- 6 画面シフト：有効または無効を選択します。

- 設定が完了し、DCがオフからオンに切り替わると、機能が動作します。

✔ ヒント

- ビデオウォールで[画面保護モード]を動作させるには、モニターをLAN上の同じネットワークに接続する必要があります。ただし、[LANデ이지チェーン]を接続・使用する場合、同じ操作を利用可能です。この場合は、ルーターまたはネットワークスイッチを使用してください。
- 接続の確認方法：⚙️（設定）→ [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]で、IPアドレスを確認します。詳細については、ステップ2：[ネットワーク]の構成を参照してください。

ステップ2：[ネットワーク]の構成（ビデオウォールモードを使用する場合）

1 必要な機器を確認します。

- ルーターまたはネットワークスイッチルーター
- DHCPサーバー
 - IPアドレスをネットワークに割り当てるために使用します。ルーターに含まれます。
 - さらに、ネットワークスイッチを使用して、ネットワークを構成する必要があります。
- ネットワークケーブル（イーサネットケーブル）
 - ルーター（またはネットワークスイッチ）のイーサネットポートとSignageのイーサタイプポートに接続するために使用します。

2 Signageのネットワーク接続を確認します。

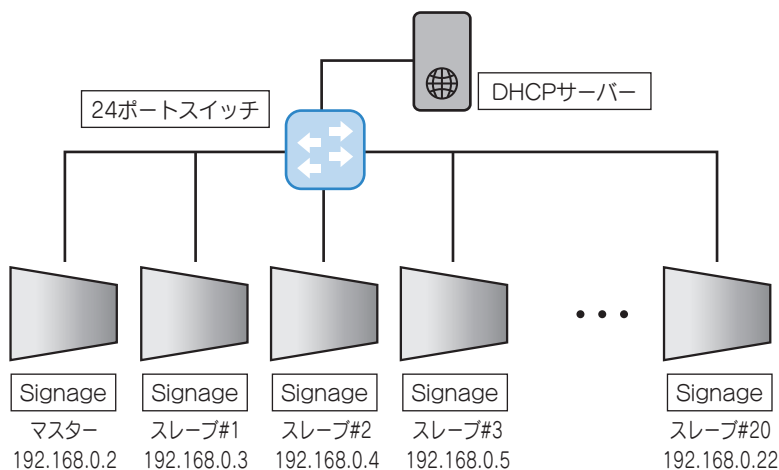
- ⚙️（設定）→ [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]
 - ルーターがインターネットに接続されている場合：接続ステータスに「インターネットに接続済み」と表示されていることを確認します。
 - ルーターがインターネットに接続されていない場合：接続ステータスに「イーサネット経由でインターネットに接続されていません」と表示されていることを確認します。

3 SignageのIPアドレスを確認します。

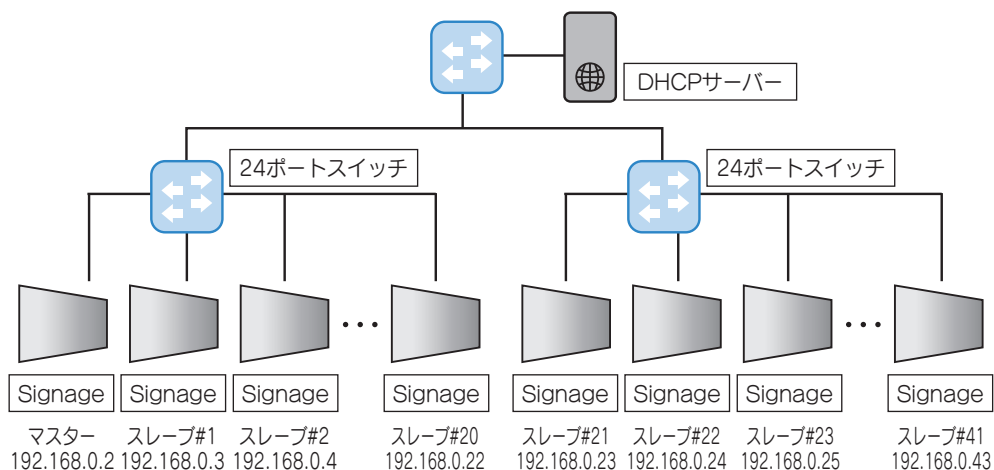
- ⚙️（設定）→ [機器設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]で、IPアドレスを確認します。

ネットワーク接続の例

- 1 すべてのSignageユニットを1台のユニットにより接続できる場合：ネットワーク性能を低下させることなく、接続可能です。



- 2 複数台のスイッチを使用する場合：2層モードでネットワークを構成します。



- Signageユニットを各Tier-2スイッチに接続し、Tier-2スイッチをTier-1スイッチに接続します。
- DHCPサーバーは、Tier-1スイッチに直接接続することが最良です。

✔ ヒント

- タイトルモードをサポートしないモデルの場合、[タイトルの種類]および[詳細設定]メニュー項目は利用できません。
- [画面保護モード]は、[TruMotion] / [ピクチャーノイズリダクション] / [MPEGノイズリダクション]機能を使用中は使用できません。
- DTV入力モードで、[TruMotion] / [ピクチャーノイズリダクション] / [MPEGノイズリダクション]機能を有効にするには、[画面保護モード]メニューが[オフ]に設定されていることを確認してください。
- ビデオウォールの[画面保護モード]機能を有効にするには、画面をLAN経由で同一のネットワーク上に接続する必要があります。
しかし、画面が[LANデジタイゼーション]に接続されているときは、同じ操作を行えません。この場合は、ルーターまたはネットワークスイッチの使用をお勧めします。
- [画面保護モード設定]がすべて設定され動作しており、設定が変更された場合、または、[画面保護モード]機能が中止された場合、製品に次回電源を入れるとき、この機能は再起動します。
- [スクリーンシフト]機能は、スタンドアローン構成または単一のDisplayPortデジタイゼーションで使用する場合のみ使用できます。
[タイトルモード]を使用している場合、[タイトルモードの設定]の[行]および[列]の値が、[詳細設定]の[行]および[列]の値と等しい場合のみ、[スクリーンシフト]機能は正常に動作します。
- [コンテンツ輝度補正]が[強]に設定されていると、[低]に設定されているときと輝度に差が生じる場合があります。
- [管理者] → [工場初期化]をクリックして、デフォルト設定に戻します。
- 画面シフト機能を使用する場合、タッチした領域と操作した領域の位置が多少異なる場合があります。

サウンド

[サウンドモード]

SETTINGS /  → [音声] → [サウンドモード]

[サウンドモード]

視聴中のコンテンツのジャンルに応じて、自動的に適した音質が選択されます。

- [標準]：あらゆるジャンルに適した音質で出力します。
- [シネマ]：映画の視聴に適した音質で出力します。
- [クリアボイス] 会話を強調して聞き取りやすくします。
- [スポーツ]：スポーツ観戦に適した音質で出力します。
- [音楽]：音楽の再生に適した音質で出力します。
- [ゲーム]：ゲームのサウンドに適した音質で出力します。

[バランス]

- [バランス]：左右のスピーカーの音量のバランスを調整できます。

[イコライザー]

- [イコライザー]：周波数帯域ごとにそれぞれ音量を調整して、お好みの音質に調整できます。

[初期化中]

- [初期化中]：サウンドモードの設定をリセットします。

[スピーカー設定]

SETTINGS /  [音声] → [スピーカー設定]

- [本体スピーカー]/[外部スピーカー]：音声の出力先を設定します。モニターの内蔵スピーカーとモニターに接続した外部音声デバイスを切り替えます。
 - [内蔵スピーカーを使用]：スピーカーのオンとオフを切り替えることができます。外部オーディオデバイスを使用している場合、この機能をオフにすると、外部オーディオデバイスからのみサウンドを再生できます。
- [SIMPLINK外部スピーカー]：この機能は、SIMPLINK対応のホームシアターデバイスを接続します。ホームシアターデバイス入力に設定すると、接続されたデバイスから音声出力されます。この設定は、SIMPLINKが[オン]に設定された場合に有効になります。
- [LGサウンドシンク / Bluetoothデバイス]：BluetoothオーディオデバイスまたはBluetoothヘッドフォンを無線でお使いのモニターに接続して、高品質のサウンドを手軽に楽しむことができます。
- [光デジタル]：デジタルオプティカルサウンド出力ポートを備えたモデルにのみ適用されます。デジタルオーディオ出力ポートに接続された外部スピーカーオーディオデバイスから音声を出力できます。

ヒント

- デバイスによっては、モニターの電源をオンにしたときに自動的に再接続を試みます。
- LGサウンドシンクをサポートしているLGオーディオデバイスは、接続する前にLGTVモードまたはLGサウンドシンクモードに設定することをお勧めします。
- [デバイスの選択]で、現在接続されているデバイスから接続が可能な他デバイスに切り替えることができます。
- モニターのリモコンで接続されているデバイスの音量を調整できます。
- オーディオデバイスを接続できない場合は、オーディオデバイスの電源がオンになっているか、接続可能な状態になっているか確認してください。
- Bluetoothデバイスのタイプによっては、正常に接続されなかったり、動画と音声同期しないなど、正常に動作しない場合があります。
- 次の場合、音声途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
 - Bluetoothデバイスとモニターの距離が離れている。
 - Bluetoothデバイスとモニターの間に障害物がある。
 - 電子レンジや無線LANなどの同周波数帯の無線機器の近くでBluetoothデバイスを使用している。

[AUDIO OUT]

SETTINGS / ⚙️ → [音声] → [オーディオ出力]

- [オフ] : [AUDIO OUT]が無効になります。(オーディオの出力なし。)
- [可変] : モニターに接続された外部オーディオデバイスの出力範囲を指定し、範囲内で音量を調整できます。外部オーディオデバイスの音量を0~100の範囲（スピーカーの音量と同じ）内で変更できます。ただし、出力される実際の音量は異なることがあります。
- [固定] : 外部オーディオデバイス出力の設定値を固定します。
 - 外部入力がない場合、外部オーディオは出力されません。
 - [可変]の設定値[100]は[固定]の音量と同じです。

[AVシンク]

SETTINGS / ⚙️ → [音声] → [AVシンク]

動画とオーディオを同期させるオーディオタイミングを調整します。

- [外部スピーカー] (0~15) : デジタルオーディオ出力ポート、LGオーディオ機器、またはヘッドフォンに接続されたスピーカーなど、外部スピーカーの音声と動画の同期を調整します。数字が大きいほど、音声出力はデフォルト値より遅くなります。
- [本体スピーカー] (0~15) : 内蔵スピーカーのサウンド同期を調整します。数字が大きいほど、音声出力はデフォルト値より遅くなります。
- [Bypass] : 映像の音声を遅延を抑えて出力します。モニターは映像にエフェクト処理を行うと映像信号に遅延が発生する場合があるので、音声の先に出力される場合があります。

[デジタル音声入力]

SETTINGS / ⚙️ → [音声] → [デジタル音声入力]

オーディオ出力に対する入力ソースを選択します。

- [デジタル] : デジタル入力信号（HDMI、DISPLAYPORT、OPS）の音声だけを出力します。
- [アナログ] : [オーディオイン]ポートを通してモニターに接続されたデジタル入力ソース（HDMI、DISPLAYPORT、OPS）からのオーディオを出力します。

管理者

[ロックモード]

SETTINGS /  → [管理者] → [ロックモード]

[ホームダッシュボードのロック]

ホームダッシュボードロックを設定すると、ホームダッシュボードの設定の変更を制限できます。

[USBのロック]

設定やコンテンツを変更できないようにUSBロック機能を構成できます。

[OSDのロック]

設定やコンテンツを変更できないように設定可能なOSDの項目を制限します。

- 設定キーを10秒間長押ししてパスワードを入力すると、OSDロックの設定メニューが表示されます。

[IR操作のロック]

- [オフ（ノーマル）]に設定すると、リモコンでの操作が可能になります。
- [オン（電源ボタンのみ）]に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [オン（全ブロック）]に設定すると、リモコンの操作ができなくなります。（ただし、[電源オン]機能は利用できます。）
- 設定キーを10秒間長押ししてパスワードを入力すると、IR操作の設定メニューが表示されます。

[ローカルキーのロック]

設定やコンテンツを変更できないように[ローカルキーの操作のロック]機能を構成できます。

- この機能を[オフ（ノーマル）]に設定すると、モニターのローカルキーを使用できます。
- [オン（電源ボタンのみ）]に設定すると、電源キーのみ使用できます。（ジョイスティックを使用する場合は、ローカルキーを押して保持し、モニターをオン/オフにしてください。）
- この機能を[オン（全ブロック）]に設定すると、ローカルキーを使用できません。（ただし、[電源オン]機能は利用できます。）

[Wi-Fiのロック]

この機能を有効にするとWi-Fiに接続できなくなります。

[有線ネットワーク接続ロック]

この機能を使用して、有線ネットワーク接続をオンまたはオフにできます。

[ScreenShareのロック]

この機能を有効にすると[画面共有]機能が使用できなくなります。

[ScreenShareのロック]の設定変更を適用するときは、再起動が必要です。

[パスワードの変更]

管理者用パスワードを変更できます。（既定のパスワード：000000）

- 1 現在のパスワードを入力します。
- 2 新しい6桁のパスワードを入力します。
- 3 確認のため、[パスワードの確認]フィールドに同じパスワードをもう一度入力します。

[エンタープライズ設定]

- 対応する企業設定を適用するには、会社のアカウントコードを入力します。
- コードを入力すると、モニターセットがリセットされるため、対応する企業設定が適用されます。
- この機能は、コードがすでに入力されている場合は有効になりません。

[HDCPダイナミック出力制御]

- 「オン」に設定すると、HDCPで保護されたコンテンツのみが暗号化されて配信されます。
- 「オフ」に設定すると、すべてのコンテンツが暗号化されて配信されます。

[初期化]

[設定]のすべての設定とファイルを初期化し、内部ストレージから削除します。

例外は、[補正]モード、[ビデオウォール]（[タイルモード]、[タイルモードの設定]、[ナチュラルモード]、[フレームコントロール]、[スキャン反転]）のRGBゲイン値および[Ez設定]の[サーバー設定]項目、[機器設定]の[IDの設定]です。



ヒント

- ユーザーメニューの[オフ/オン]ボタンで切り替わるのはサブメニューの状態（有効/無効）だけです。このため、既存の設定が維持されます。

コンテンツ管理者

Webログイン

- ・製品によってサポートされる機能は異なります。
- このサインージ製品は、お使いのPCまたはモバイルデバイスでアクセスできる機能を備えています。
- [コンテンツ管理者]、[グループ管理者2.0]、[コントロール管理者]、[ログアウト]、[パスワード変更]メニューが提供されます。
- ・URL : <https://set.ip:3777>
- ・初期パスワードは、**HOME / ↑ →** [モバイルURL]メニューで確認することができます。

⚠ 注意

- ・サポートされている解像度（このプログラムは、次の解像度に対して最適化されています） :
 - PC 1920 x 1080
 - モバイル : 360 x 640 (1440 x 2560, 1080 x 1920) 、 DPR
- ・サポートされているブラウザ（このプログラムは、次のブラウザに対して最適化されています） :
 - Chrome 85以降（推奨）
- ・セキュリティのため、初期パスワードでログインし、パスワードを変更してください。
- ・初期パスワードの変更後は、**HOME / ↑ →** [モバイルURL]メニューにパスワードは表示されません。

コンテンツ管理者

[Player]

HOME / ↑ →  (プレーヤー)

[コンテンツ管理者]アプリのプレーヤー機能により、動画コンテンツ、画像コンテンツ、テンプレートコンテンツ、SuperSignコンテンツ、プレイリストコンテンツを統合的に再生、管理できます。（OLEDモデルは、画像コンテンツおよびテンプレートコンテンツの再生と管理をサポートしていません。）

[連続再生]

- 1 左にあるタブからコンテンツの所望するタイプを選択し、次に所望するコンテンツを選択します。
- 2 画面の右上隅にある[再生]をクリックし、選択したコンテンツを楽しみます。

[エクスポート]

- 1 左にあるタブからコンテンツの所望するタイプを選択し、画面の右上隅にある[エクスポート]をクリックします。
- 2 エクスポートするコンテンツを選択します。
- 3 画面の右上隅にある[コピー]/[周回機]をクリックし、コンテンツをエクスポートするデバイスを選択します。（ターゲットデバイスに保存されたコンテンツファイルが選択されると、コンテンツファイルの処理がスキップされます。）
- 4 コンテンツがデバイスに移動/コピーされたことがわかります。

[削除]

- 1 左にあるタブからコンテンツの所望するタイプを選択し、画面の右上隅にある[削除]をクリックします。
- 2 削除するコンテンツを選択します。
- 3 画面の右上隅にある[削除]をクリックします。
- 4 コンテンツが削除されたことがわかります。

[フィルター/ソート]

- 1 画面の右上隅にある[フィルター/ソート]をクリックします。
- 2 1) ファイル名または再生された順番のいずれかでコンテンツファイルを並べ替えるための所望する並べ替え基準を選択します（最近再生されたファイルがリストの最上部に表示）。
2) コンテンツファイルをデバイス毎にフィルタリングすることで、所望するデバイスに保存されたコンテンツのみ表示できます
3) コンテンツファイルをコンテンツタイプ毎にフィルタリングすることで、所望するタイプのコンテンツのみ表示できます

[プレイリストの作成]

プレイリストの作成時に、*、/、"、:、?、<、>、|、\、.、# の各文字はプレイリストファイル名に使用できません。さらに、これらの文字を名前に含むコンテンツファイルをプレイリストが含む場合、プレイリストを移動したりコピーしたりできません。

- 1 左にあるタブから[プレイリスト]を選択し、画面の右上にある[プレイリストの作成]をクリックします。
- 2 プレイリストに追加するコンテンツを選択し、画面の右上にある[次へ]をクリックします。
- 3 コンテンツ（フォトおよびテンプレートのコンテンツに対してのみ適用可能）の各ピースの再生時間、さらに[変換効果]、[比率]、[オーディオ再生]など他の項目を設定し、画面の右上にある[完了]ボタンをクリックします。
- 4 新しい[プレイリスト]が作成されたことがわかります。

[配布]

- 1 画面の右上隅にある[配布]をクリックします。
- 2 Group Managerアプリに移動し、作成したプレイリストを配信します。



ヒント

- 配信ボタンは、メディアタイプとしてプレイリストが選択されている場合にのみ表示されます。

[予約リスト]

HOME /    (スケジューラー)

[コンテンツ管理者]アプリのスケジューラー機能により、プレイリストや外部入力を通して予約された時間に特定のコンテンツを再生できます。

[Creating a Schedule (予約の作成)]

- 1 画面の右上隅にある[New Schedule (新しいスケジュール)]をクリックします。
- 2 [プレイリスト]と[入力ソース]間で選択します。
- 3 1) [プレイリスト]を選択した場合、再生の予約を行うプレイリストを選択してください。
2) [入力ソース]を選択した場合、再生の予約を行う外部入力ソースを選択してください。
- 4 予約情報を入力して新しい予約を作成します。(予約の作成時に、*、/、"、:、?、<、>、|、\、.、# の各文字は予約ファイル名に使用できません。さらに、これらの文字を名前に含むコンテンツファイルを予約にリンクされたプレイリストが含む場合、プレイリストを移動したりコピーしたりできません。)
- 5 予約した時間に再生するよう選択したプレイリストまたは外部入力をご覧ください。

[Importing a Schedule (予約のインポート)]

- 1 画面の右上隅にある[インポート]をクリックします。
- 2 予約をインポートする外部ストレージデバイスを選択します。
- 3 お使いのモニターにインポートする予約を選択します。(単一予約のみ選択できます。)
- 4 画面の右上隅にある[選択]をクリックします。
- 5 予約がモニターの内部ストレージメモリにインポートされたことを確認します。

[Exporting a Schedule (予約のエクスポート)]

- 1 画面の右上隅にある[エクスポート]をクリックします。
- 2 予約をエクスポートする外部ストレージデバイスを選択します。
- 3 お使いのモニターからエクスポートする予約を選択します。(複数の予約を選択できます。)
- 4 画面の右上隅にある[選択]をクリックします。
- 5 選択した外部ストレージデバイスに予約がエクスポートされたことを確認します。

[予約の削除]

- 1 画面の右上隅にある[削除]をクリックします。
- 2 削除する予約を選択します。
- 3 [削除]をクリックします。
- 4 予約が削除されたことを確認します。

[カレンダー表示]

- 1 予約を登録したら、[カレンダー表示]をクリックします。
- 2 登録された予約がタイムテーブル形式で表示されることがわかります。

[配布]

- 1 画面の右上隅にある[配布]をクリックします。
- 2 Group Managerアプリに移動し、作成した予約を配信します。



ヒント

- ・ 予約の作成時間が重複していると、前に作成した予約が削除されます。
- ・ 予約リストアプリの実行中、予約は動作しません。

[エディター]

HOME / (エディター)

[コンテンツ管理者]アプリのエディター機能により、所望のテンプレートを追加できます。

- 1 所望の形式のテンプレートを選択します。 ([ランドスケープ]モードと[ポートレート]モード間で選択できます。)
- 2 テンプレートのテキストを修正します。
 - 2-1. フォントスタイルを適用します (サイズ、太さ、下線、イタリック)。
- 3 メディアファイルを修正します。
 - 3-1. 希望のレートを選択して適用します。
- 4 画面の右上隅にある[保存]をクリックしてテンプレートを保存します。
- 5 保存したテンプレートがテンプレートリストで表示されていることを確認します。

サポートされている写真および動画ファイル

ヒント

- ・字幕はサポートされません。
- ・OLEDモデルでは写真機能を使用できません。

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf、.wmv	動画	VC-1 Advanced Profile (WMVAを除く)、VC-1 シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard (WMA v1/WMA 音声を除く)
.avi	動画	Xvid (3フープポイントGMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4、.m4v、.mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp、.3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.ts、.trp、.tp、.mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg、.mpeg、.dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

最大送信比

フル HD ムービー	H.264 1920 x 1080@60P BP/MP/HP@L4.2 40Mbps HEVC 1920 x 1080@60P Main/Main10@L4.1 40Mbps
ULTRA HD ムービー (UHD モデルのみ。)	H.264 3840 x 2160@30P BP/MP/HP@L5.1 50Mbps HEVC 3840 x 2160@60P Main/Main10@L5.1 60Mbps

サポートされている写真ファイル形式

ファイルタイプ	形式	解像度
.jpeg、.jpg、.jpe	JPEG	- 最小：最小：64 x 64 - 最大：標準タイプ：15360 (W) x 8640 (H) プログレッシブタイプ：1920 (W) x 1440 (H)
.png	PNG	- 最小：最小：64 x 64 - 最大：5760 (W) x 5760 (H)
.bmp	BMP	- 最小：最小：64 x 64 - 最大：1920 (W) x 1080 (H)

USBストレージデバイスの使用上のヒント

- USBストレージデバイスのみを認識できます。
- USBハブでモニターに接続されたUSBストレージデバイスは正しく動作しないことがあります。
- 自動認識プログラムを使用するUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 独自のドライバーを使用するUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なる場合があります。
- 接続したUSBストレージデバイスの動作中に、ディスプレイの電源をオフにしたり、USBデバイスを取り外したりしないでください。デバイスを突然切り離したり、取り外したりすると、保存されたファイルやUSBストレージデバイスが損傷することがあります。
- PC上で自動的に操作されたUSBストレージデバイスを接続しないでください。このデバイスにより製品の誤動作が発生したり、再生が失敗したりすることがあります。ノーマルの音楽、画像、映画ファイルを保存するUSBストレージデバイスのみ使用してください。
- Windowsでサポートされていないユーティリティプログラムでフォーマットされたストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 外部電源の必要なUSBストレージデバイス（0.5 A超）に電源を接続してください。電源を接続しなかった場合、デバイスが認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスは、デバイスメーカーから提供されているケーブルに接続してください。
- USBストレージデバイスによっては、サポートされていないか、円滑に動作しない場合があります。
- USBストレージデバイスのファイル配置方法は、Windows XPに類似しており、ファイル名については、英字で100文字まで含めることが可能です。
- USBストレージデバイスに保存されたデータは破損する場合があるため、重要なファイルは必ずバックアップしてください。当社は、いかなるデータ喪失に対する責任も負いかねます。
- USB HDDに外部電源がない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。必ず外部電源に接続してください。
 - 外部電源には電源アダプターを使用してください。外部電源用にUSBケーブルは付属していません。
- Windowsが提供するFAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージデバイスのみを使用してください。

- USBストレージデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合は、最大で4つのパーティションまたはUSBストレージデバイスを使用できます。
- USBストレージデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USBストレージデバイスが正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- USBストレージデバイスがスタンバイモードで接続されている場合は、ディスプレイの電源をオンにしたときに、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- 推奨される容量は、USB外部ハードディスクの場合は1 TB以下、USBメモリの場合は32 GB以下です。
- 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- [映像省エネ設定]機能付きのUSB外部ハードディスクが動作しない場合は、ハードディスクの電源をオフにして、再度オンにして、正しく動作させてください。
- USBストレージデバイス（USB 2.0またはそれ以前）もサポートされています。ただし、動画リストでは正しく動作しないことがあります。
- 1つのフォルダー内では、最大999個のフォルダーまたはファイルが認識可能です。
- UHD解像度でビデオを再生しながらコンテンツをUSBに配信すると、ビデオに一時的なスタッタリングが発生することがあります。
- モバイルデバイスがサポートするUSBストレージデバイスは、認識されないことがあります。
- 複数のUSBストレージデバイスが接続されている場合でも、使用できるUSBストレージデバイスは1つだけです。

グループマネージャー2.0

この機能により、複数のモニターセットを単一のネットワークにまとめ、コンテンツ（予約およびプレイリスト）を送信するかグループベースで設定データをコピーできます。この機能には、[マスター]と[スレーブ]の2つのモードがあり、お使いのPCまたはモバイルデバイスでブラウザーにアクセスできます。

[マスター]

- グループを追加、編集、削除します。
- お使いのデバイスの設定データのクローンを作ります。
- グループベースで[予約]と[プレイリスト]を送信します。
- すべてのモニターセットは最初、マスターモードで納品されます。

[スレーブ]

- マスターモードで送信された[予約]および[プレイリストの送信]を再生します。
- それぞれのグループに対してモニターセットを削除します。
- グループに追加されたモニターセットは、自動的にスレーブモードに切り替わります。逆に、モニターセットがグループから削除されると、自動的に初期化され、マスターモードに切り替わります。
- 既存のグループに新しいスレーブが追加されているか、[データの複製]または[予約]/[プレイリスト]の配信が正しく実行されていない場合、[データの複製]または[シンク]ボタンが有効になります。
- [データの複製]を使用して、マスターデバイスの設定データをグループに複製できます。
- [シンク]を使用して、グループに送信されたコンテンツを再ダウンロードできます。

[グループの管理]

- [新規グループ]の作成
 1. [新しいグループの追加]をクリックします。
 2. グループ名を入力します。
 3. [デバイスの追加]をクリックし、グループに追加するデバイスを選択し、デバイスを追加します。
 4. [完了]をクリックすると、新規グループが作成されたことが確認できます。
- [グループ]の編集
 1. 編集するグループをクリックします。
 2. [デバイスの追加]を使用して、新規デバイスを追加します。
 3. [デバイスの削除]を使用して、デバイスを削除します。
 4. [デバイスの確認]を使用して、グループのデバイスがネットワークに接続されているかどうかを確認します。
 5. グループ内に[データの複製]またはコンテンツが同期されていないデバイスがある場合、[データの複製]または[シンク]ボタンが有効になります。
 6. [データの複製]を使用して、マスターデバイスの設定データをグループに再コピーできます。
 7. [シンク]を使用して、グループに送信されたコンテンツを再ダウンロードできます。
- グループの削除
 1. [グループの削除]をクリックします。
 2. 削除するグループを選択し、[削除]をクリックします。
 3. 選択したグループが削除されたことを確認します。
- すべてのデバイスの表示：このページでは、同じネットワークに接続されたすべてのスレーブモニターを管理できます。
 1. [すべてのデバイスを表示]をクリックします。
 2. [デバイスモードのリセット]をクリックします。
 3. デバイスモードを変更するスレーブモニターを選択し、[初期化中]をクリックします。

[設定データの複製]

- 1 目的のグループを選択し、クローンをクリックします。
- 2 データがスレーブセットにコピーされたことを確認します。

[コンテンツの送信]

- 1 送信するコンテンツの種類（[予約]または[プレイリスト]）を選択します。
- 2 送信するコンテンツを選択します。
- 3 コンテンツを送信するグループを選択し、[配布]をクリックします。
- 4 スレーブセットで[コンテンツマネージャー]アプリを実行し、コンテンツが送信されたことを確認します。

使用方法

- ・ モニター：ホーム画面のアプリを実行、追加、削除または編集します。
- ・ モバイル：モバイルデバイス：ランチャーバーのアプリを実行するか、提供されたQRコードかURLを使用してモバイルデバイスのアプリにアクセスします。

注意

- ・ 最大25グループを作成できます。
- ・ 最大12スレーブデバイスをグループに追加できます。
- ・ コンテンツマネージャーのインポート操作を実行した後に、外部デバイスに保存された予約を送信できません。
- ・ 予約を送信する前に、スレーブセットに保存されたすべての予約を削除したことを確認します。
- ・ 所望するグループに追加できるデバイスのリストは、以下の条件を満たした場合のみ表示されます。
 - 追加するデバイスは、マスターデバイスと同じネットワーク上にあること。
 - 追加するデバイスはマスターモードであり、既存のグループに属してはならない。
 - UPnP機能が有効であること（[一般] > [ネットワーク] > UPnPに移動し、[オン]に設定する）。
- ・ 無線ネットワーク環境では正しく作動しないことがあります。有線ネットワークを使用することを推奨します。
- ・ グループを削除するときに、スレーブ機能の初期設定を行います。

ScreenShare

この機能により、モバイルやPC Windowsなどのユーザーのデバイスの画面を、WiDiやMiracastなどの無線接続を使用するディスプレイと共有できます。

使用方法 [Screen Share]

 (入力) →  → [Screen Share]

- 1 右上隅にある[接続ガイド]ボタンからアクセスできるガイドに記載されている手順に従って接続してください。
- 2 接続が確立されると、ユーザーデバイスとモニターの間のScreen Shareが有効になります。

ヒント

- Intel WiDiの使用法は、PCまたはノートパソコンのメーカーのホームページに掲載されています。
- この機能はWiDi 3.5以上のバージョンでのみ正常に動作します。
- この機能はWindows 8.1以上でのみ正常に動作します。

LG Presenter

この機能は、SignageモニターにPC（WindowsまたはMac OS）の画面をPCとの有線/無線接続で表示することです。この機能を使用するには、PCにLG Presenter PC Client（以下「Client」）をインストールする必要があります。

LG Presenterは、次のように使用できます。

- 接続：Signageデバイスをクライアントに接続するためのPINコードを入力します。
- Screen Share：接続しているクライアントのPC画面をSignageデバイスと共有します。
- ハンドオーバー：クライアントがすでに接続されており、別のクライアントが画面を共有する必要がある場合は、接続されているクライアントに画面を共有する許可を得るためのハンドオーバーを要求できます。
- 設定：クライアントの情報を見たり、クライアントが使用している言語を変更したりできます。



ヒント

- この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。
- PC画面の共有のみがサポートされ、音声共有はサポートされません。

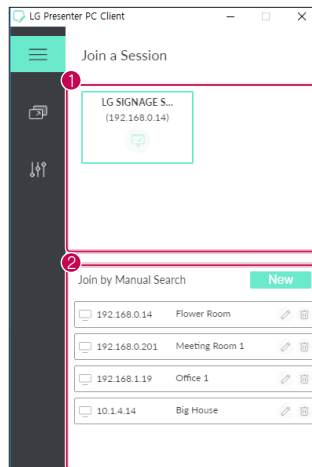
接続

Signage上

INPUT /  → [LG Presenter]

PC上

- 1 www.lge.com/LGP/にアクセスして、クライアントをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたクライアントをインストールして実行します。
- 3 希望のユーザー名を入力してボタン  を押します。
- 4 自動検索または手動検索を選択して、デバイスを接続します。
 - ・自動検索
 - ネットワーク内にあるSignageデバイスのリストが表示されたら、接続したいものを選択します。
 - ・手動検索
 - 「新着」をクリックし、接続するデバイスの名前とSignageに表示するIPアドレスを入力して、[接続]をクリックします。
- 5 Signageデバイスに表示されるPINコードをクライアントのPINコードフィールドに入力します。



番号	項目	説明
①	自動検索	同じネットワーク内のSignageを自動的に検索します。
②	手動検索	IPアドレスと名前を手動で入力するか、接続リストで接続するデバイスを選択します。

注意

- ・SignageとPCは、相互に接続できるネットワーク内にある必要があります。
- ・Signageの特定のポート（UDP 1900）がブロックされている場合、クライアントプログラムはSignageを自動的に検索できません。
- ・ネットワーク構成によっては、クライアントプログラムが手動検索でSignageに接続したり、画面を共有したりできない場合があります。

Screen Share

- 1 共有したい画面を選択して、[共有]ボタンを押します。
- 2 Screen Shareを終了するには、[中止]ボタンを押します。

注意

- Screen Shareが機能しない、またはSignageデバイスに接続できない場合は、PCのファイアウォール設定を確認してください。

ハンドオーバー

PC1 : Signageデバイスに現在接続しているクライアントが稼働しているPC。

PC2 : PC1に接続されているSignageデバイスに接続するPC。

PC2上

- 1 クライアントプログラムを実行して、PC1が接続されているSignageに接続します。

PC1上

- 1 ハンドオーバー要求ポップアップがPC2に表示されたら、要求を承認するか拒否するかを選択します。
- 2 ハンドオーバーの要求を承認すると、Signageデバイスは切断され、PC2のクライアントはSignageデバイスに接続されます。
- 3 ハンドオーバーの要求を拒否した場合でも、Signageデバイスは接続されたままになるため、引き続きLG Presenterの機能を使用することができます。

管理ツール

コントロールマネージャー

Webブラウザを使用して表示の状態を制御および確認します。

この機能は、PCとモバイルデバイスで使用できます。

製品によってサポートされる機能は異なります。

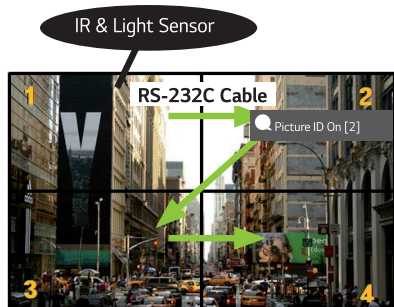
機能

- [ダッシュボード]：製品の状態の概要と各ページへのリンクが表示されます。
- [ディスプレイと音声]：[画面の明るさ]、[サウンド]、[入力]、[再起動]などの機能を提供します。
- [時刻設定]：[自動設定]機能を有効/無効にして、製品に設定された時間を表示/変更します。
- [ネットワーク]：お使いのサイネージモニターの名前とIPアドレスを設定します。
- [タイルモード]：製品のタイルモードの設定を表示します。
- [フェイルオーバー]：フェールオーバー機能をオンまたはオフにして、関連する項目を設定します。
- [URL経由で再生]：[URL経由で再生]をオンまたはオフにして、URLを設定します。
- [S/Wのアップデート]：製品のファームウェアを更新します。
- [グラフ]：製品の温度やファンの状態などの製品状態情報を出力します。
- [ログ]：製品の誤動作レコードを出力します。
- [システム情報]：製品のソフトウェアバージョンやモデル名などの情報を出力します。

映像ID

[映像ID]は、マルチビジョン用のIRレシーバーを1つ使用して特定のセット（ディスプレイ）の設定を変更する場合に使用します。IRレシーバー付きのモニターと、RS-232Cケーブルを使用するその他のモニターとの通信が可能です。各モニターは、[IDの設定]によって識別されます。[映像ID]を設定すると、[映像ID]と一致するセットIDのモニターのみリモコンで操作できます。

- 1 以下に示すように、設置されたモニターに[IDの設定]を割り当てます。



- 2 リモコンの赤い[映像ID]オンボタンを押します。
 - 3 設定した映像IDが、コントロールするモニターの[IDの設定]と同じであることを確認します。
- [映像ID]とは異なる[IDの設定]を持つセットは、IR信号によってコントロールできません。

✓ ヒント

- [映像ID]が2に設定されている場合は、[IDの設定]が2である右上のモニターのみをIR信号によってコントロールできます。
- リモコンの緑の[映像ID]オフボタンを押すと、すべてのモニターの[映像ID]がオフになります。その後、リモコンの任意のボタンを押すと、[IDの設定]に関係なくすべてのモニターをIR信号によってコントロールできます。

タッチ

Touch Assistive Menu

このタッチ専用機能により、ユーザーはリモコンを使用することなく、設定を行うことができます。
特定の時間の間画面にタッチするか、Touch Assistive Menuのローカルキーをタッチすると、画面にTouch Assistive Menuが表示されます。
製品によってサポートされる機能は異なります。

機能

-  : ホーム画面に移動します。
-  : 外部入力選択画面に移動します。
-  : 設定画面に移動します。
-  : SI App Selection画面に移動します
 -  : ZIPタイプによりインストールされたSI Appを実行します
 -  : IPKタイプによりインストールされたSI Appを実行します
 -  : 開発者モードに移動します
 -  : SI Serverの設定に移動します
-  : 音量制御画面に移動します

タッチスクリーンで外部PCを操作する

- これは、特定のモデルにのみ適用されます。

PCへの接続

USBケーブル（タイプA-タイプB）でモニターとPCを接続することで、モニターの画面をタッチして、接続したPCを操作できます。

USB-CをサポートするPCの場合は、USB Type-Cケーブルで、モニターとPCを接続して、タッチスクリーンでPCを操作します。

OPSがインストールされている場合でも、製品の画面にタッチして、インストールされたOPSを制御できます。

タッチスクリーン上のタスクの優先度

優先度	状態	動作条件	画面にタッチしたときにタスクを実行するデバイス
1	90°/180°/270°に設定される外部入力のリ回転 - 表示されるメニュー、アプリ、ダッシュボードなど - 表示されるポップアップメッセージ	1つの状態のみが表示されます	製品の画面
2	- 接続されているOPS - OPSで構成された外部入力	すべての状態が表示されます	OPS
3	- USB Type-Cで接続されたPC - USB Type-Cで構成された外部入力	すべての状態が表示されます	USB Type-Cで接続されたPC
4	- 構成された外部入力（OPS/USB Type-C接続以外） - タッチケーブルを使って製品の前面に接続されるPC	すべての状態が表示されます	タッチケーブルを使って製品の前面に接続されるPC
5	- 構成された外部入力（OPS/USB Type-C接続以外） - タッチケーブルを使って製品の背面に接続されるPC	すべての状態が表示されます	タッチケーブルを使って製品の背面に接続されるPC

ヒント

- 外部PCに接続し、タッチスクリーンを使用する場合、外部PCの間でタッチ機能に対する接続を切り替えるとき、タッチスクリーン上のタッチの認識に時間がかかる可能性があります。

スマート校正

実行方法

W.BAL → [Smart Calibration]

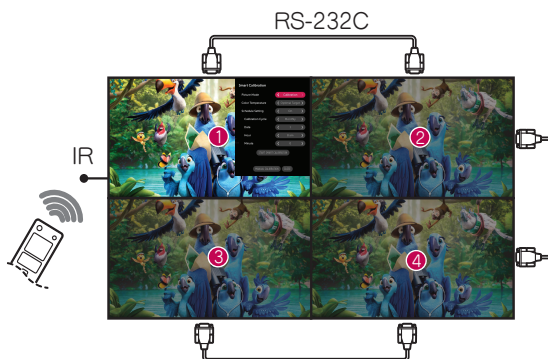
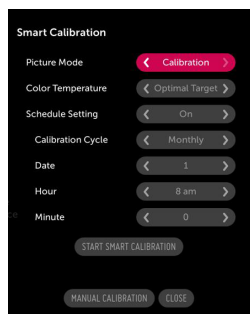
- 1 各セットのセットIDを設定します。
- 2 [Picture Mode]を選択して、スマート校正を実行します。

[映像モード]を[補正]モードに設定すると、[色温度]を[3000 K]/[最適な対象]/[オリジナル]から選択することができます。

- [最適な対象]：インストールされているセットの最適なカラー値を対象として設定します。
- 放送局環境では対象を3000 Kに設定してください。

[補正]モード以外の[映像モード]設定時には、[色温度]を3200 K～13000 Kの範囲で設定できます。100 K単位での調整が可能です。

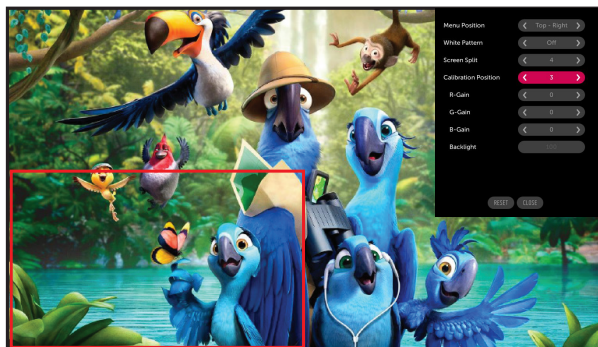
- 3 [START SMART CALIBRATION]を使用すると、色/輝度を補正できます。
- 4 [Schedule Setting]メニューを設定すると、校正は定期的に自動で実行されます。



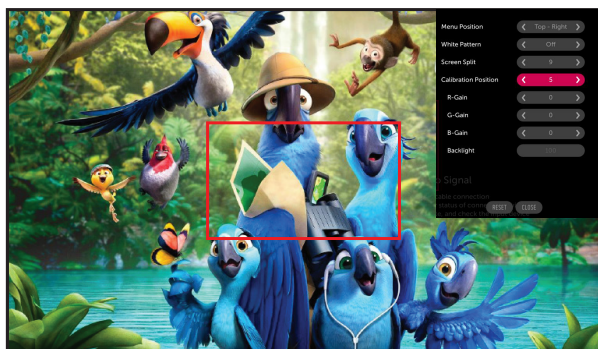
[Manual Calibration]

選択した位置の色を手動で調整できます。

- [Screen Split] : 手動調整領域を設定します。
- [Calibration Position] : 手動調整位置を選択します。



Screen Split : 4、Calibration Position : 3



Screen Split : 9、Calibration Position : 5

IRコード

- すべてのモデルがHDMI/USB機能をサポートしているわけではありません。
- モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード (16進)	機能	備考
08	 (電源)	リモコンボタン
C4	MONITOR ON	リモコンボタン
C5	モニターオフ	リモコンボタン
95	ENERGY SAVING	リモコンボタン
0B	INPUT (入力選択)	リモコンボタン
10	Number Key 0 (数字キー-9)	リモコンボタン
11	Number Key 1 (数字キー-9)	リモコンボタン
12	Number Key 2 (数字キー-9)	リモコンボタン
13	Number Key 3 (数字キー-9)	リモコンボタン
14	Number Key 4 (数字キー-9)	リモコンボタン
15	Number Key 5 (数字キー-9)	リモコンボタン
16	Number Key 6 (数字キー-9)	リモコンボタン
17	Number Key 7 (数字キー-9)	リモコンボタン
18	Number Key 8 (数字キー-9)	リモコンボタン
19	Number Key 9 (数字キー-9)	リモコンボタン
02	 (Vol +)	リモコンボタン
03	 (Vol -)	リモコンボタン
E0	明るさ  (ページアップ)	リモコンボタン
E1	明るさ  (ページダウン)	リモコンボタン
DC	 (3D)	リモコンボタン
32	1/a/A	リモコンボタン
2F	CLEAR (消去)	リモコンボタン
7E	 SIMPLINK	リモコンボタン
79	ARC (マーク/画面サイズ)	リモコンボタン
4D	PSM (映像モード)	リモコンボタン
09	 (ミュート)	リモコンボタン

コード (16進)	機能	備考
43	⚙ (設定/メニュー)	リモコンボタン
99	自動構成	リモコンボタン
40	⬆ (アップ)	リモコンボタン
41	⬇ (ダウン)	リモコンボタン
06	➤ (右)	リモコンボタン
07	➤ (左)	リモコンボタン
44	Ⓞ (OK)	リモコンボタン
28	↶ (戻る)	リモコンボタン
7B	タイル	リモコンボタン
5B	終了	リモコンボタン
72	映像IDオン (赤)	リモコンボタン
71	映像IDオフ (緑)	リモコンボタン
63	黄	リモコンボタン
61	青	リモコンボタン
5F	W.Bal	リモコンボタン
3F	Ⓜ (Sメニュー)	リモコンボタン
7C	🏠 (ホーム)	リモコンボタン
97	画面切換	リモコンボタン
96	ミラー	リモコンボタン

複数の製品のコントロール

- これは、特定のモデルにのみ適用されます。

この方法を使用して、複数のモニターを1台のPCに接続できます。複数のモニターを1台のPCに接続することで、それらを一度に制御できます。

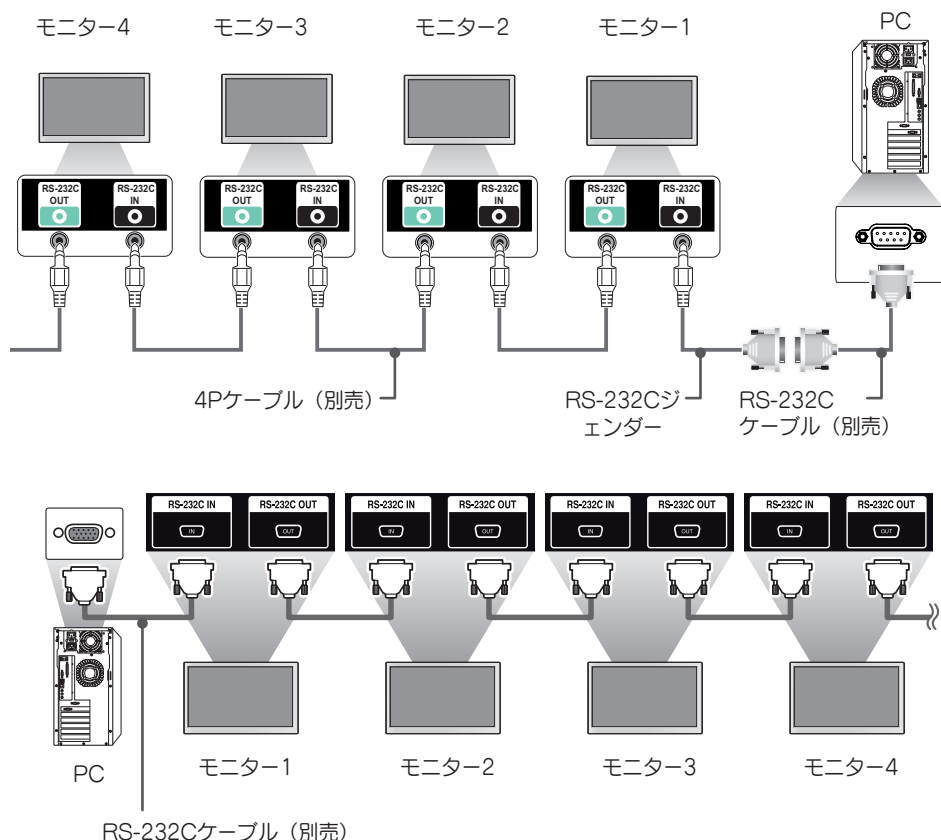
[オプション]メニューで、セットIDは1~1,000の範囲にし、重複がないようにする必要があります。

接続ケーブル

- モデルによっては、図が異なっている場合があります。

図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

PCとモニター間の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。モニター電源のオン/オフ、入力元の選択、OSDメニューの調整をPCから操作できます。

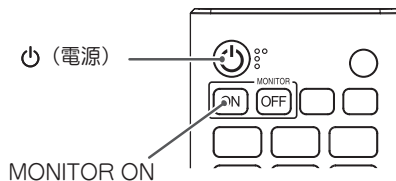


通信パラメーター

ボーレート：9600 bps
 データ長：8ビット
 パリティビット：なし
 ストップビット：1ビット
 フロー制御：なし
 通信コード：ASCII

✔ ヒント

- 3本の配線で接続している場合（非標準）、赤外線通信機能のディジーチェーン接続は使用できません。
- 適切に接続するために必ず同梱のジェンダーのみをご使用ください。
- ディジーチェーン接続された複数のサイネージ製品を同時にコントロールする場合、マスターデバイスを連続的にオン/オフしようとすると、一部の製品がオンにならないことがあります。この場合は、[電源]ボタンでなく、MONITOR ONボタンを押すと、それらのモニターをオンにすることができます。



コマンドリファレンスリスト

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
01	[電源]	k	a	00~02
02	入力の選択	x	b	入力の選択を参照
03	[画面サイズ]	k	c	[画面サイズ]を参照
04	[明るさコントロール]	j	q	00~04
05	[映像モード]	d	x	[映像モード]を参照
06	[コントラスト]	k	g	00~64
07	[明るさ]	k	h	00~64
08	[シャープネス]	k	k	00~32
09	[色]	k	i	00~64
10	[色合い]	k	j	00~64
11	[色温度]	x	u	70~D2
12	[バランス]	k	t	00~64
13	[サウンドモード]	d	y	[サウンドモード]を参照
14	[ミュートオン]	k	e	00~01
15	音量コントロール	k	f	00~64
16	[現在時刻] 1 (年/月/日)	f	a	[現在時刻] 1 を参照
17	[現在時刻] 2 (時間/分/秒)	f	x	[現在時刻] 2 を参照
18	[信号がなければ電源をオフ (15分)]	f	g	00~01
19	[IRがなければ電源をオフ (4時間)]	m	n	00~01
20	[言語]	f	i	[言語]を参照
21	[デフォルト]の設定	f	k	00~02
22	現在の温度	d	n	FF
23	[キー]	m	c	[キー]の参照
24	経過時間	d	l	FF
25	製品シリアル番号を確認	f	y	FF
26	[ソフトウェアバージョン]	f	z	FF
27	[ホワイトバランス] 赤ゲイン	j	m	00~FE
28	[ホワイトバランス] 緑ゲイン	j	n	00~FE
29	[ホワイトバランス] 青ゲイン	j	o	00~FE
30	[ホワイトバランス] 赤オフセット	s	x	00~7F
31	[ホワイトバランス] 緑オフセット	s	y	00~7F
32	[ホワイトバランス] 青オフセット	s	z	00~7F
33	[バックライト]	m	g	00~64
34	[映像オフ]	k	d	00~01
35	[タイルモード]	d	d	00~FF
36	[タイルモード]の確認	d	z	FF
37	[タイルID]	d	i	[タイルID]を参照
38	[ナチュラルモード]	d	j	00~01

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
39	[DPM] / [DPM (スタンバイモード)]	f	j	[DPM] / [DPM (スタンバイモード)]を参照
40	リモコン/ローカルキーロック	k	m	00~01
41	[電源オン遅延]	f	h	00~FA
42	[フェイルオーバー]モードを選択	m	i	00~02
43	[フェイルオーバー]入力選択	m	j	[フェイルオーバー]入力選択を参照
44	リモートコントローラーキーロック	t	p	00~02
45	ローカルキーのロック	t	o	00~02
46	[状態の確認]	s	v	[状態の確認]を参照
47	[サマータイム]	s	d	[サマータイム]を参照
48	[PMモード]	s	n、0c	00~05
49	[ISM方式]を参照	j	p	[ISM方式]を参照
50	[ネットワーク設定]	s	n、80 (81) (82)	[ネットワーク設定]を参照
51	[電源オンの状況]	t	r	00~02
52	有線[Wake On LAN] / [Wake On LAN (ネットワークスタンバイモード)]	f	w	00~01
53	[画面の回転]	t	h	00~03
54	[時刻同期]	s	n、16	00~01
55	[コンテンツ同期]	t	g	00~01
56	[LANデジタイゼーション]	s	n、84	00~01
57	[外部入力の回転]	s	n、85	00~03
58	[ビーコン]	s	n、88	00~01
59	[明るさの予約]モード	s	m	00~01
60	[明るさの予約]	s	s	[明るさの予約]を参照
61	[マルチ画面]モードと入力	x	c	[マルチ画面]モードと入力を参照
62	[画面サイズ] (マルチ画面)	x	d	[画面サイズ] (マルチ画面)を参照
63	[映像オフ] (マルチ画面)	x	e	[映像オフ] (マルチ画面)を参照
64	[常に画面オフ]	s	n、0d	00~01
65	動画の停止	k	x	00~01
66	無線[Wake On LAN] / [Wake On LAN (ネットワークスタンバイモード)]	s	n、90	00~01
67	[OSDのロック]	k	l	00~01
68	[HDMI ITコンテンツ]	s	n、99	00~01

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
69	[休日設定]	s	n、9b	[休日設定]を参照
70	[UPnP]	s	n、9c	00~01
71	[ホームダッシュボードのロック]	s	n、9d	00~01
72	[USBのロック]	s	n、9e	00~01
73	[Wi-Fiのロック]	s	n、9f	00~01
74	[ScreenShareのロック]	s	n、a0	00~01
75	[ストレージにバックアップする]	s	n、a1	[ストレージにバックアップする]を参照
76	[デジタル音声入力]	s	n、a2	00~01
77	[起動のロゴ画像]	s	n、a3	00~01
78	[SoftAP]	s	n、a4	00~01
79	[通常サイズ]	s	n、a5	00~64
80	保存された内部メディアの再生	s	n、a8	保存された内部メディアの再生を参照
81	[無信号の画像]	s	n、a9	00~01
82	[AUDIO OUT]	s	n、aa	00~02
83	[DPM起動設定] / [DPM (スタンバイモード) 起動設定]	s	n、0b	00~01
84	[ファン]障害の確認	d	w	FF
85	[すべての入力に適用]	s	n、52	01
86	[オンタイマー]	f	d	[オンタイマー]を参照
87	[オフタイマー]	f	e	[オフタイマー]を参照
88	LCIN008コントロール	s	n,b8	LCIN008コントロールを参照
89	[Transfer Control (転送コントロール)]	s	n,cb	[Transfer Control (転送コントロール)]を参照
90	マルチチャンネル	s	n,76	01~09
91	Setidを変更する	j	x	Setidを変更するを参照
92	[ガンマ]	s	n,ad	00~03
93	[黒レベル]	s	n,ae	00~02
94	[4K ディープカラー]	s	n,af	[4K ディープカラー]を参照
95	[同期モード]	s	n,b0	00~01
96	[入力マネージャー]	s	n,b1	[入力マネージャー]を参照
97	[PC/OPSのオン/オフ]	s	n,8b	00~02
98	[LED部分制御]	s	n,c1	00~01
99	[スキャン反転]	s	n,87	00~01
100	[フレームコントロール]	s	n,b7	00~01

		コマンド		データ (16進)
		1	2	
101	[Average Picture Level自動制御]	s	n、be	00～01
102	明るさ値を読み取る	m	u	FF
103	[画面エラーの検出]	t	z	00～01
104	[ステレオモード]	s	n、c2	00～02
105	[HDR映像モード]	s	n、c4	[HDR映像モード]を参照
106	[ダイナミックトーンマッピング]	s	n、c5	00～01
107	[LED部分制御]	s	n、c6	00～03
108	[USB2 → HDBaseT]1	s	n、c3	00～01
109	[パスワードの変更]	s	n、a7	[パスワードの変更]を参照
110	[輝度範囲の調整]	s	n、ab	[輝度範囲の調整]を参照してください
111	[色の校正]	s	n、d6	00～01
112	[静寂モード]	s	n、c7	00～01

* 注、外部入力を使用されていない場合、コマンドが動作しないことがあります。

* モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

送受信プロトコル

放送

(コマンド1)(コマンド2)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

- * (コマンド1)：このコマンドは、調整設定またはユーザー調整モードの間を識別するために使用されます。
- * (コマンド2)：このコマンドは、モニターをコントロールするために使用します。
- * (IDの設定)：コントロールするセットの選択に使用します。OSDメニューの(設定)で、各セットに1～1000 (01H～3E8H) の一意のセットIDを割り当てることができます。セットIDに「00H」を選択すると、すべての接続されたモニターを同時に制御できます。(モデルによって最大値は異なります。)
- * (データ)：コマンドデータを送信します。コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
- * (Cr)：キャリッジリターン。このパラメーターは、アスキーコードの「0 x 0D」に対応しています。
- * ()：ホワイトスペース。このパラメーターは、アスキーコードの「0 x 20」に対応しています。

アクノリッジメント

(コマンド2)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * 本製品は、正常なデータを受信した場合に、この形式に基づいてACK（アクノリッジメント）を送出します。この時点で、データがFFである場合は、現在の状態データを示します。データがデータ書き込みモードになっている場合は、PCコンピューターのデータを返します。
- * コマンドがセットID「00」（=0x00）で送信された場合、データはすべてのモニターに反映され、モニターはアクノリッジメント（ACK）を送信しません。
- * RS-232Cを通してコントロールモードでデータの値として「FF」を送信する場合、関連する機能（一部の機能には適用できない）に対して現時点で設定されている値を確認できます。
- * モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

01.[電源] (コマンド: k a)

モニターの電源のオン/オフをコントロールします。

放送

(k)(a)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

02: 再起動

アクノリジメント

(a)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * アクノリジメント信号は、モニターの電源が完全にオンになったときにのみ適切に返されます。
- * 放送 および アクノリジメント信号の間に遅延が発生することがあります。
- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

02.入力の選択 (コマンド: x b)

入力信号を選択します。

放送

(x)(b)()(セットID)()(データ)(Cr)

データ 20: AV

40: コンポーネント

60: RGB

70: DVI-D (PC)

80: DVI-D (DTV)

90: HDMI1 (DTV)

A0: HDMI1 (PC)

91: HDMI2 (DTV)

A1: HDMI2 (PC)

92: OPS/HDMI3/DVI-D (DTV)

A2: OPS/HDMI3/DVI-D (PC)

95: OPS/DVI-D (DTV)

A5: OPS/DVI-D (PC)

96: HDMI3/DVI-D (DTV)

A6: HDMI3/DVI-D (PC)

97: HDMI3/HDMI2/DVI-D (DTV)

A7: HDMI3/HDMI2/DVI-D (PC)

98: OPS (DTV)

A8: OPS (PC)

99: HDMI2/OPS (DTV)

A9: HDMI2/OPS (PC)

C0: DISPLAYPORT (DTV)

D0: DISPLAYPORT (PC)

C1: ディスプレイポート/USB-C (DTV)

D1: ディスプレイポート/USB-C (PC)

C2: HDMI3 (DTV)

D2: HDMI3 (PC)

C3: HDBaseT (DTV)

D3: HDBaseT (PC)

E0: SuperSign webOS Player

E1: その他

E2: マルチ画面

E3: URL経由で再生

アクノリジメント

(b)()(セットID)()(OK/NG)(データ)(x)

- * 一部の入力信号は、一部のモデルでは利用できない場合があります。
- * SuperSign Wから配信されたわけではない場合、WebOS PlayerはNGを返します。
- * IDBモードから「読み取り」と表示された場合、PCラベルタイプとして応答します。

03.[画面サイズ] (コマンド: k c)

お使いのモニターの画面サイズを調整します。

放送

(k)(c)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 02: [フルスクリーン]

06: [オリジナル]

アクノリジメント

(c)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * 画面サイズは、モデルの入力設定によって異なる場合があります。

04.[明るさ] (コマンド: j q)

お使いのモニターの明るさを設定します。

放送

(j)(q)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [最小]

02: [普通]

03: [最大]

04: [自動]

アクノリジメント

(q)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

05.[映像モード] (コマンド: d x)

映像モードを選択します。

放送

(d)(x)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [モール/QSR]

01: [一般]

02: [官公庁/企業]

03: [交通]

04: [教育]

05: [シネマ1]

08: [自動電源保存]

11: [補正]

12: [病院]

アクノリジメント

(x)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * 映像モードによっては、すべてのモデルで利用できない場合があります。

06.[コントラスト] (コマンド：k g)

画面のコントラストを調整します。

放送

(k)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：コントラスト 0-100

アクノリッジメント

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

10.[色合い] (コマンド：k j)

画面の色合いを調整します。

放送

(k)(j)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：色合い 赤50～緑50

アクノリッジメント

(j)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

07.[明るさ] (コマンド：k h)

画面の明るさを調整します。

放送

(k)(h)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：明るさ 0-100

アクノリッジメント

(h)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

11.[色温度] (コマンド：x u)

画面の色温度を調整します。

放送

(x)(u)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 70-D2：3200K-13000K

アクノリッジメント

(u)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

08.[シャープネス] (コマンド：k k)

画面のシャープネスを設定します。

放送

(k)(k)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-32：シャープネス 0-50

アクノリッジメント

(k)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

12.[バランス] (コマンド：k t)

サウンドバランスを調整します。

放送

(k)(t)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：左50～右50

アクノリッジメント

(t)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

09.[色] (コマンド：k i)

画面の色を調整します。

放送

(k)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：色 0-100

アクノリッジメント

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

13. [サウンドモード] (コマンド: d y) サウンドモードを選択します。

放送

(d)(y)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 01: [標準]
02: [音楽]
03: [シネマ]
04: [スポーツ]
05: [ゲーム]
07: [News (Clear Voice III)
(ニュース (クリアボイスIII))]

アクノリッジメント

(y)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

14. [ミュートオン] (コマンド: k e) サウンドをミュート/ミュート解除します。

放送

(k)(e)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: [ミュート] (音量オフ)
01: 消音オフ (音量オン)

アクノリッジメント

(e)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

15. 音量コントロール (コマンド: k f) 再生音量を調整します。

放送

(k)(f)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00-64: 音量 0-100

アクノリッジメント

(f)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

16. [現在時刻] 1 (年/月/日) (コマンド: f a) 時刻1 (年/月/日) の値と自動時刻を設定します。

放送

1. (f)(a)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)()
(データ3)(Cr)

2. (f)(a)() (IDの設定)() (0)(0)() (データ1)(Cr)

1. 時刻 (年/月/日) を設定する場合

データ 1 00-: 2010 -

データ 2 01-0C: 1月~12月

データ 3 01-1F: 1~31

- * データ 1の最小値と最大値は、製品の発売年によって異なります。

- * 「fa [セットID] ff」を入力すると、時刻1 (年/月/日) の設定が表示されます。

2. 自動時刻を設定する場合

データ 1 00: [自動]

01: [手動]

- * 自動時刻の設定値を表示するには、「fa [セットID] 00 ff」を入力します。

アクノリッジメント

1. (a)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)

(データ2)(データ3)(x)

2. (a)() (IDの設定)() (OK/NG)(0)(0)(データ1)
(x)

17. [現在時刻] 2 (時間/分/秒) (コマンド: f x)

時刻2の値 (時間/分/秒) を設定します。

放送

(f)(x)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)()
(データ3)(Cr)

データ1 00-17: 00~23時間

データ 2 00-3B: 00~59分

データ 3 00-3B: 00~59秒

- * 「fx [セットID] ff」を入力すると、時刻2 (時/分/秒) の設定が表示されます。

- * この機能は、時刻1 (年/月/日) が設定された場合のみ使用できます。

アクノリッジメント

(x)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)
(データ3)(x)

18.[信号がなければ電源をオフ (15分)] (コマンド: f g)

15分間信号がない場合にモニターが自動スタンバイモードに移行します。

放送

(f)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

19.[赤外線信号がなければ電源をオフ] (コマンド: m n)

IR信号が4時間なければ、[自動電源オフ]が有効になります。

放送

(m)(n)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

20.[言語] (コマンド: f i)

OSD言語を設定します。

放送

(f)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: チェコ語

01: デンマーク語

02: ドイツ語

03: 英語

04: スペイン語 (欧州)

05: ギリシャ語

06: フランス語

07: イタリア語

08: オランダ語

09: ノルウェー語

0A: ポルトガル語

0B: ポルトガル語 (ブラジル)

0C: ロシア語

0D: フィンランド語

0E: スウェーデン語

0F: 韓国語

10: 中国語 (普通話)

11: 日本語

12: 中国語 (広東語)

13: アラビア語

14: トルコ語

アクノリッジメント

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* 言語によっては、一部のモデルで利用できない場合があります。

21.[デフォルト]の設定 (コマンド: f k)

[リセット]を実行します。(画面の初期化は、RGB入力モードでのみ実行可能です)

放送

(f)(k)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [画像をリセット]

02: [初期化]

アクノリッジメント

(k)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

22.現在の温度 (コマンド: d n)

製品の現在の温度を確認します。

放送

(d)(n)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF: 状態の確認

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* 温度は16進数で表示されます。

23.[キー] (コマンド: m c)

IRリモートキーコードを送信します。

放送

(m)(c)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ IR_KEY_CODE

アクノリッジメント

(c)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* キーコードについては、「IRコード」を参照してください。

* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

24. 経過時間 (コマンド: d l)

お使いのモニターの電源を入れてからの経過時間を表示します。

放送

(d)(l)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF: 状態の読み取り

アクノリッジメント

(l)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* 受信したデータは16進数で表示されます。

25. 製品シリアル番号の確認 (コマンド: f y)

製品のシリアル番号を確認します。

放送

(f)(y)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF: 製品シリアル番号を確認

アクノリッジメント

(y)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* データはASCII形式です。

26. [ソフトウェアバージョン] (コマンド: f z)

製品のソフトウェアバージョンを確認します。

放送

(f)(z)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF: ソフトウェアバージョンの確認

アクノリッジメント

(z)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

27. [ホワイトバランス] 赤ゲイン

(コマンド: j m)

ホワイトバランスの赤ゲイン値を調整します。

放送

(j)(m)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-FE: 赤ゲイン 0~254

FF: 赤ゲイン値を確認

アクノリッジメント

(m)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

28. [ホワイトバランス] 緑ゲイン

(コマンド: j n)

ホワイトバランスの緑ゲイン値を調整します。

放送

(j)(n)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-FE: 緑ゲイン 0~254

FF: 緑ゲイン値を確認

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

29. [ホワイトバランス] 青ゲイン

(コマンド: j o)

ホワイトバランスの青ゲイン値を調整します。

放送

(j)(o)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-FE: 青ゲイン 0~254

FF: 青ゲイン値を確認

アクノリッジメント

(o)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

30.[ホワイトバランス] 赤オフセット (コマンド：s x)

ホワイトバランスの赤オフセット値を調整します。

放送

(s)(x)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-7F：赤オフセット 0~127
FF：赤オフセット値を確認

アクノリッジメント

(x)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

31.[ホワイトバランス] 緑オフセット (コマンド：s y)

ホワイトバランスの緑オフセット値を調整します。

放送

(s)(y)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-7F：緑オフセット 0~127
FF：緑オフセット値を確認

アクノリッジメント

(y)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

32.[ホワイトバランス] 青オフセット (コマンド：s z)

ホワイトバランスの青オフセット値を調整します。

放送

(s)(z)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-7F：青オフセット 0~127
FF：青オフセット値を確認

アクノリッジメント

(z)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

33.[バックライト] (コマンド：m g) バックライトの明るさを調整します。

放送

(m)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-64：バックライト 0~100

アクノリッジメント

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

34.[映像オフ] (コマンド：k d) 画面をオフ/オンにします。

放送

(k)(d)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00：画面オン
01：映像オフ

アクノリッジメント

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

35.[タイルモード] (コマンド：d d) タイルモードとタイルの行と列の値を設定します。

放送

(d)(d)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-FF：第1バイト - タイルの列
第2バイト - タイルの行

* 00、01、10、11はタイルモードがオフであることを意味しています。

* モデルによって最大値は異なります。

アクノリッジメント

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* ビデオウォールモデルの値を変更した場合は、正常に機能するように再起動してください。

36.[タイルモード] (コマンド: d z)

タイルモードを確認します。

放送

(d)(z)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF: タイルモードの確認

アクノリッジメント

(z)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)

(データ3)(x)

データ 1 00: タイルモードオフ

01: タイルモードオン

データ 2 00-0F: タイルの列

データ 3 00-0F: タイルの行

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

37.[タイルID] (コマンド: d i)

製品のタイルID値を設定します。

放送

(d)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 01-E1: タイルID 1~225

FF: タイルIDの確認

- * データ値は行 x 列の値を超えることはできません。

アクノリッジメント

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * [データ]パラメーターの行x列の値を超える値 (0xFFは除く) を入力すると、ACKはNGになります。

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

- * ビデオウォールモデルの値を変更した場合は、正常に機能するように再起動してください。

38.[ナチュラルモード] (タイルモード) }で

(コマンド: d j)

画像を自然に表示するために、モニター間の隙間に通常は表示される画像の部分が省略されます。

放送

(d)(j)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(j)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

39.[DPM] / [DPM (スタンバイモード)]
(コマンド: f j)

DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定します。

放送

(f)(j)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

02: 10秒

04: 1分

05: 3分

06: 5分

07: 10分

アクノリッジメント

(j)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

40.リモートコントロール/ローカルキー操作のロ
ック (コマンド: k m)

リモコン/ローカルキー (前面) ロックを調整します。

放送

(k)(m)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ] (ロックオフ)

01: [オン] (ロックオン)

- * モニターがオフの場合は、オン (01) モードでも電源キーが機能します。

アクノリッジメント

(m)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

41.[電源オン遅延] (コマンド: f h)

電源をオンにしたときの遅延時間を設定します。

(単位: 秒)

放送

(f)(h)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00-FA: 最小0~最大250 (秒)

アクノリッジメント

(h)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

- * モデルによって最大値は異なります。

42.[フェイルオーバー]モード (コマンド : m i)
サウンドモードを選択します。

放送

(m)(i)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]
01 : [自動]
02 : [設定]

アクノリッジメント

(i)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

44.リモコンキーロック (コマンド : t p)
製品のリモコンキーの設定を構成します。

放送

(t)(p)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00 : すべてのキーのロックを解除
01 : 電源キーを除くすべてのキーをロック
02 : すべてのキーをロック

アクノリッジメント

(p)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

43.[フェイルオーバー]入力選択 (コマンド : m j)

フェールオーバーの入力ソースを選択します。(この機能は、[フェールオーバー]が[カスタム]に設定されている場合にのみ使用できます)

放送

(m)(j)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)()(データ3)()(データ4)…()(データN)(Cr)

データ1～N (入力優先順位1～N)

60 : RGB
70 : DVI-D
90 : HDMI1
91 : HDMI2
92 : OPS/HDMI3/DVI-D
95 : OPS/DVI-D
96 : HDMI3/DVI-D
97 : HDMI3/HDMI2/DVI-D
98 : OPS
99 : HDMI2/OPS
C0 : ディスプレイポート
C1 : ディスプレイポート/USB-C
C2 : HDMI3
C3 : HDBaseT

アクノリッジメント

(j)()(SetID)()(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)…(データN)(x)

* 入力信号によっては、一部のモデルで利用できない場合があります。

* モデルによってデータ番号 (N) は異なります。(データ番号はサポートされている入力信号数によって異なります。)

* この機能は最終入力として動作し、DTV形式のデータをサポートします。

45.[ローカルキー操作のロック]
(コマンド : t o)

製品のローカルキーの操作を設定します。

放送

(t)(o)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00 : すべてのキーのロックを解除
01 : 電源キーを除くすべてのキーをロック
02 : すべてのキーをロック

アクノリッジメント

(o)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* モニターの電源がオフになっていて、すべてのキーをロック (02) モードになっていても、電源キーは機能します。

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

46. 状態の確認 (コマンド: s v)

製品の現在の信号状態を確認します。

放送

(s)(v)()(セットID)()(データ)()(FF)(Cr)

- データ 02: 信号の有無を確認
 03: 現在、モニターはPMモードです
 07: 上部、下部、メインの温度センサーが正しく動作しているかどうかを確認します。
 09: ファン速度
 10: RGB検出OK/NG (画面の障害検出)
 16: 湿度値を確認します
 17: 照明の強度値を確認します
 18: 製品の傾斜の状態値を確認します

アクノリッジメント

(v)()(セットID)()(OK/NG)(データ)(データ1)(x)

- データ 02 (信号が検出されたとき)
 データ1 00: 信号なし
 01: 信号あり

 データ 03 (モニターがPMモードであるとき)
 データ1 00: 画面オン
 01: 画面オフ
 02: 常に画面オフが有効
 03: 画面サイズの維持が有効
 04: 画面オフ/バックライトが有効

データ 07 (上部、下部、メインの温度センサーが正常に動作しているかの確認中)

- データ1 00: すべての温度センサーが誤動作
 01: 上部正常、下部誤動作、メイン誤動作
 02: 上部誤動作、下部正常、メイン誤動作
 03: 上部正常、下部正常、メイン誤動作
 04: 上部誤動作、下部誤動作、メイン正常
 05: 上部正常、下部誤動作、メイン正常
 06: 上部誤動作、下部正常、メイン正常
 07: すべての温度センサーが正常

データ 10 (画面エラーの検出を実行時)

- データ1 00: 画面エラーの検出はNGになる
 07: 画面エラーの検出はOKになる

* 画面エラーの検出がオフに設定されているとき、または、サポートされない場合、実行結果は「NG」になります。

データ 16 (湿度値を確認する場合)

- データ1 0~100: 現在の湿度の%RH値を読み取ります (16進数値として示されます)。

データ 17 (照明の強度値を確認する場合)

- データ1 1~1000: 現在の照明の強度のルクス値を読み取ります (16進数値として示されます)。

データ 18 (製品の傾斜の状態値を確認する場合)

- データ1 00: 0度
 01: 90度
 02: 180度
 03: 270度
 04: 前向きに倒れている
 05: 後ろ向きに倒れている

データ 09 (ファン速度の確認時)

アクノリッジメント

(v)()(セットID)()(OK/NG)(データ)

(データ1_1)(データ1_2)…(データN_1)

(データN_2)(x)

データ1_1: 00~ff: 1番目のファン速度 (上) 1 バイト

データ1_2: 00~ff: 1番目のファン速度 (下) 1 バイト

…

データN_1: 00~ff: N番目のファン速度 (上) 1 バイト

データN_2: 00~ff: N番目のファン速度 (下) 1 バイト

ファン速度: 16進数: 0~2008、10進数: 0~8200

* モデルによってデータ番号 (N) は異なります。

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

47.[サマータイム] (コマンド : s d)
サマータイムを設定します。

放送

(s)(d)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)()
(データ3)()(データ4)()(データ5)()(Cr)

データ1 00 : オフ (データ2~5 : FF)

01 : 開始時刻

02 : 終了時刻

データ2 01~0C : 1月~12月

データ3 01~06 : 第1週~第6週

* [データ3]の最大値は日付によって異なることがあります。

データ4 00~06 : (日曜日~土曜日)

データ5 00~17 : 00~23時間

* 開始時刻と終了時刻を読み取るには、パラメーター[データ2]~[データ5]のFFを入力してください。

(例1 : sd 01 01 ff ff ff ff - 開始時刻を確認します。)

(例2 : sd 01 02 ff ff ff ff - 終了時刻を確認します。)

* この機能は、時刻1 (年/月/日) と時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合にのみ動作します。

アクノリッジメント

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)
(データ3)(データ4)(データ5)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

48.[PMモード] (コマンド : s n, 0c)
PMモードを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(0c)()(データ)(Cr)

データ 00 : [電源オフ] (基本)

01 : [画面サイズの維持]

02 : [映像オフ]

03 : [常に画面オフ]

04 : [画面オフ/バックライトオン]

05 : [ネットワーク準備完了]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(0c)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

49.[ISM方式] (コマンド : j p)
ISM方法を選択します。

放送

(j)(p)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 02 : [周回機]

04 : [ホワイトウォッシュ]

08 : [オフ]

90 : [ユーザー画像]

91 : [ユーザー動画]

アクノリッジメント

(p)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* 「02 : [周回機]」は、「91 : [ユーザー動画]」がオンである間はサポートされません。

50.[ネットワーク設定] (コマンド: s n、80または81または82)

ネットワークとDNSの設定を行います。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)()(データ3)()(データ4)()(データ5)(Cr)

データ 1 80: 一時IPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを設定/表示。

81: 一時DNSアドレスを設定/表示。

82: 現在のネットワークの一時設定と表示を保存。

* データ1が80の場合、

データ 2 00: 自動

01: 手動

FF: 一時IPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを表示。

* データ2が01 (手動) の場合、

データ3 手動IPアドレス

データ4 サブネットマスクアドレス

データ5 ゲートウェイアドレス

* データ1が81の場合、

データ2 DNSアドレス

FF: 一時DNSアドレスを表示します。

* データ1が82の場合、

データ 2 80: 一時IPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを適用します。

81: 一時DNSアドレスを適用します。

FF: 現在のネットワーク情報 (IP、サブネットゲートウェイ、DNS)

* 設定例、

1.自動: sn 01 80 00

2.手動: sn 01 80 01 010177223241
255255254000 010177222001
(IP: 10.177.223.241、サブネット: 255.255.254.0、ゲートウェイ: 10.177.222.1)

3.ネットワーク読み取り: sn 01 80 ff

4.DNS設定: sn 01 81 156147035018
(DNS: 156.147.35.18)

5.設定の適用: sn 01 82 80 (保存されたIPモード (自動/手動)、サブネットマスク、ゲートウェイを適用します)、sn 01 82 81 (保存されたDNSを適用します)

* 各IPアドレスは12進数で構成されます。

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ)(x)

* この機能は有線ネットワークでのみ使用できます。

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

51.[電源オンの状況] (コマンド: t r) モニターの電源のオン状態を設定します。

放送

(t)(r)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [LST (前回の状況)]

01: [STD (スタンバイ)]

02: [PWR (電源オン)]

アクノリッジメント

(r)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

52.有線[Wake On LAN] / [Wake On LAN (ネットワークスタンバイモード)] (コマンド: f w)

有線Wake On LANオプションを選択します。

放送

(f)(w)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(w)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

53.[OSD回転] (コマンド: t h)

画面回転機能を設定します。

放送

(t)(h)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: 90度

02: 270度

03: 180度

アクノリッジメント

(h)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

54.[時刻同期] (コマンド : s n、16)

[時刻同期]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(1)(6)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

* この機能は、モニターがマスターモードの場合のみ作動します。

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(1)(6)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

55.[コンテンツ同期] (コマンド : t g)

[コンテンツ同期]を設定します。

放送

(t)(g)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(g)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

56.[LANデジチェーン]

(コマンド : s n、84)

[LANデジチェーン]をオン/オフにします。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(4)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(4)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

57.[外部入力回転] (コマンド : s n、85)

外部入力回転機能を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(5)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : 90度

02 : 270度

03 : 180度

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(5)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

58.[ビーコン] (コマンド : s n、88)

[ビーコン]をオン/オフにします。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(8)(8)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(8)(8)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

59.[明るさの予約]モード (コマンド : s m)

[明るさ予約モード]を選択します。

放送

(s)(m)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(m)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

60.[明るさの予約] (コマンド: s s)

[明るさ予約]を設定します。

放送

(s)(s)() (IDの設定)()(データ1)()(データ2)()(データ3)(Cr)

データ1

1. f1～f6 (データ読み取り)

F1: 最初の明るさ予約のデータの読み取り

F2: 2番目の明るさ予約のデータの読み取り

F3: 3番目の明るさ予約のデータの読み取り

F4: 4番目の明るさ予約のデータの読み取り

F5: 5番目の明るさ予約のデータの読み取り

F6: 6番目の明るさ予約のデータの読み取り

2. FF: 保存されているすべてのリストを読み取り

3. e1～e6 (インデックス1個を削除)、e0 (すべてのインデックスを削除)

E0: すべての明るさ予約の削除

E1: 最初の明るさ予約の削除

E2: 2番目の明るさ予約の削除

E3: 3番目の明るさ予約の削除

E4: 4番目の明るさ予約の削除

E5: 5番目の明るさ予約の削除

E6: 6番目の明るさ予約の削除

4. 00-17: 00～23時間

データ2 00-3B: 00～59分

データ3 00-64: バックライト 0～100

- * 設定した明るさの予約を読み取るか、削除する場合は、(データ2)(データ3)をFFに設定してください。
- * FFを通して、すべての構成された明るさの予約を読み取る場合は、(データ2)(データ3)に値を入力しないでください。
- * FFを通して設定した明るさ予約リストのすべての項目を取得するとき、保存されたリストがない場合でも、OKがアクノリッジ (ACK) されます。

ex1: ss 01 f1 ff ff - 明るさの予約の1番目の索引データを読み取ります。

ex2: ss 01 ff - 明るさの予約のすべての索引データを読み取ります。

ex3: ss 01 e1 ff ff - 明るさの予約の1番目の索引データを削除します。

ex4: ss 01 07 1E 46 - 時刻が07:30で、バックライトが70であるスケジュールを追加します。

アクノリッジメント

(s)() (IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)(データ3)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

61.[マルチ画面]モードと入力 (コマンド: x c)

[マルチ画面]モードおよび入力を保存してコントロールします。

放送

(x)(c)() (IDの設定)()(データ1)()(データ2)()(データ3)()(データ4)()(データ5)()(Cr)

データ1 (マルチ画面モードを設定)

10: PIP

22: PBP2

23: PBP3

24: PBP4

25: PBP3 (1:2:1)

データ2 (マルチ画面のメイン入力を設定)

データ3 (マルチ画面のサブ1入力を設定)

データ4 (マルチ画面のサブ2入力を設定)

データ5 (マルチ画面のサブ3入力を設定)

80: DVI-D

90: HDMI1

91: HDMI2

92: OPS/HDMI3/DVI-D

95: OPS/DVI-D

96: HDMI3/DVI-D

97: HDMI3/HDMI2/DVI-D

98: OPS

99: HDMI2/OPS

C0: ディスプレイポート

C1: ディスプレイポート/USB-C

C2: HDMI3

C3: HDBaseT

アクノリッジメント

(c)() (IDの設定)()(OK/NG)()(データ1)(データ2)(データ3)(データ4)(データ5)(x)

- * この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。
- * そのモデルがサポートしている入力モードのみが動作します。
- * この機能は最終入力として動作し、DTV形式のデータをサポートします。
- * 読み取り操作を実行すると、外部入力でない場合は00が返されます。

62. [画面サイズ] (マルチ画面)

(コマンド: x d)

マルチ画面の画面サイズをコントロールします。

放送

(x)(d)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)(Cr)

データ1 01: メイン入力をコントロール

02: サブ1入力をコントロール

03: サブ2入力をコントロール

04: サブ3入力をコントロール

データ2 00: フルスクリーン

01: オリジナル

アクノリッジメント

(d)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)

(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

63. [映像オフ] (マルチ画面) (コマンド: x e)

マルチ画面の各画面をオン/オフします。

放送

(x)(e)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)(Cr)

データ 1 01: メイン入力をコントロール

02: サブ1入力をコントロール

03: サブ2入力をコントロール

04: サブ3入力をコントロール

データ 2 00: 画面オン

01: 映像オフ

* この機能は、[マルチ画面]アプリの実行中にのみ動作します。

* この機能は、信号がない場合には動作しません。

アクノリッジメント

(e)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)

(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

64. [常に画面オフ] (コマンド: s n、0d)

[常に画面オフ]機能を有効にすると、PMモードを有効にしたかどうかに関係なく、モニターは[画面オフ]モードになります。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(0)(d)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(0)(d)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

65. 動画の停止 (コマンド: k x)

動画停止機能をコントロールします。

放送

(k)(x)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: 動画停止機能がオンです。

01: 動画停止機能がオフです。

* この機能は、単一入力モードでのみ動作します。

アクノリッジメント

(x)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

66. 無線[Wake On LAN] / [Wake On LAN (ネットワークスタンバイモード)] (コマンド: s n、90)

ワイヤレスLANで起動機能を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(0)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(0)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

67. [OSDのロック] (コマンド: k l)

OSDを設定します。

放送

(k)(l)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ 00: OSDのロック

01: OSDのロック解除

アクノリッジメント

(l)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ)(x)

68. [HDMI ITコンテンツ] (コマンド: s n、99)

HDMIデータに基づき映像モードを自動的に設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(9)()(データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(9)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

69.[休日設定] (コマンド：s n、9b)

休日を設定します。

放送

- 1.(s)(n)()(IDの設定)()(9)(b)()
 (データ1)()(データ2)()(データ3)()
 (データ4)()(データ5)()(データ6)(Cr)
 2.(s)(n)()(IDの設定)()(9)(b)()(データ1)()
 (データ2)(Cr)
 3.(s)(n)()(IDの設定)()(9)(b)()(データ1)
 (Cr)

1.休日の設定

データ 1 開始年

00～：2010～)

データ 2 開始月

01～0c：1月～12月

データ 3 開始日

01～1F：01～31

データ 4 開始年/月/日からの期間

01～07：1～7日

データ 5 繰り返し

00：なし

01：毎月

02：毎年

データ 6 日付/曜日ベースで予約を繰り返します。

01：日付ベースで。

02：曜日ベースで。

* データ 1の最小値と最大値は、製品の発売年によって異なります。

* [データ 6]の値は、[データ 5] (毎年または毎月) に対して値が既に設定されている場合のみ入力できます。

2.予約の確認

データ 1 所望の予約を選択します。

F1：1番目の予約を読み取り

F2：2番目の予約を読み取り

F3：3番目の予約を読み取り

F4：4番目の予約を読み取り

F5：5番目の予約を読み取り

F6：6番目の予約を読み取り

F7：7番目の予約を読み取り

データ 2

FF

3.予約の削除

E0：すべての休日予約を削除します。

E1：最初の休日予約を削除します。

E2：2番目の休日予約を削除します。

E3：3番目の休日予約を削除します。

E4：4番目の休日予約を削除します。

E5：5番目の休日予約を削除します。

E6：6番目の休日予約を削除します。

E7：7番目の休日予約を削除します。

* この機能は、現在時刻が設定されていないと動作しません。

アクノリッジメント

- 1.(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(b)
 (データ1)(データ2)(データ3)(データ4)(データ5)
 (データ6)(x)
 2.(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(b)(f)(1-7)
 (データ1)(データ2)(データ3)(データ4)(データ5)
 (データ6)(x)
 3.(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(b)(データ1)
 (x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

70.[UPnP] (コマンド : s n、9c)

UPnPモードを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(c)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(c)(データ)(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

* UPnPモードを変更すると再起動します。

71.[ホームダッシュボードのロック]

(コマンド : s n、9d)

ホームダッシュボードロックを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(d)()(データ)(Cr)

データ 00 : ホームダッシュボードのロック解除

01 : ホームダッシュボードのロック

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(d)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

72.[USBのロック] (コマンド : s n、9e)

[USBロック]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(e)()(データ)(Cr)

データ 00 : USBのロック解除

01 : USBのロック

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(e)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

73.[Wi-Fiのロック] (コマンド : s n、9f)

[Wi-Fiロック]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(9)(f)()(データ)(Cr)

データ 00 : Wi-Fiのロック解除

01 : Wi-Fiのロック

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(9)(f)(データ)(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

74.[ScreenShareのロック]

(コマンド : s n、a0)

[画面共有ロック]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(0)()(データ)(Cr)

データ 00 : ScreenShareのロック解除

01 : ScreenShareのロック

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(0)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* 画面共有ロックモードを変更すると、再起動します。

75.[ストレージにバックアップする]を参照 (コマンド：s n、a1)

[ストレージによるバックアップ]を設定します。

放送

1.1.(s)(n)()(IDの設定)()(a)(1)()(データ1)
(Cr)

2.(s)(n)()(IDの設定)()(a)(1)()(データ1)
(データ2)(Cr)

1.ストレージによるバックアップを無効にします。
データ 1 00：オフ

2.ストレージによるバックアップを自動に設定

データ 1 01：自動

データ 2 01：30分

02：1時間

03：2時間

04：3時間

3.ストレージによるバックアップを手動に設定

データ 1 02：手動

4.ストレージによるバックアップをSuperSignコ
ンテンツに設定

データ 1 03：SuperSignコンテンツ

5.SIアプリ/URL経由の再生を設定する

データ1 04：[SIアプリ/URL経由の再生]

アクノリッジメント

1.(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(1)(データ1)
(x)

2.(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(1)(データ1)
(データ2)(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

76.[デジタル音声入力] (コマンド：s n、a2) [デジタルオーディオ入力]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(2)()(データ)(Cr)

データ 00：デジタル

01：アナログ

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(K/NG)(a)(2)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

77.[起動のロゴ画像] (コマンド：s n、a3) [ロゴ起動画像]を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(3)()(データ)(Cr)

データ 00：[オフ]

01：[オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(3)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

78.[SoftAP]モード (コマンド：s n、a4) SoftAPモードを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(4)()(データ)(Cr)

データ 00：[オフ]

01：[オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(4)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

79.[通常サイズ] (コマンド : s n、a5)

通常サイズを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(5)()(データ)(Cr)

データ 00-64 : 通常サイズ 0~100

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(5)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

80.内部ストレージメディアの再生

(コマンド : s n、a8)

内部ストレージに保存されているメディアファイルを再生します。内部ストレージメディア : コンテンツ管理プレーヤーでエクスポートされた後にモニターの内部ストレージに保存された動画および画像。

* 適用外 : テンプレートコンテンツ、SuperSignコンテンツ、プレイリストコンテンツ。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(8)()(データ)(Cr)

データ 01 : 再生

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(8)()(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

81.[無信号の画像] (コマンド : s n、a9)

無信号画像機能を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(9)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(9)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

82.[オーディオ出力] (コマンド : s n、aa)

Audio Outをオフ/可変/固定に設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(a)(a)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [可変]

02 : [固定]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(a)(a)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

83.[DPM起動設定] / [DPM (スタンバイモード) 起動設定] (コマンド : s n、0b)

DPM起動設定をコントロールします。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(0)(b)()(データ)(Cr)

データ 00 : [時刻設定]

01 : [時刻設定+データ]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(0)(b)(データ)(x)

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

84.[ファン]障害チェック (コマンド : d w)

ファンの誤動作を確認します。

放送

(d)(w)()(IDの設定)()(データ)(Cr)

データ FF : 状態の読み取り

アクノリッジメント

(w)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)(x)

データ 1 00 : ファン故障

01 : ファン正常

データ 2 00 : 0個の障害 (ファン正常)

01 : 1個の障害

02 : 2個の障害

03 : 3個の障害

04 : 4個の障害

05 : 5個の障害

06 : 6個の障害

07 : 7個の障害

08 : 8個の障害

09 : 9個の障害

0A : 10個の障害

* この機能は、すべてのモデルで利用できない場合があります。

85.[すべての入力に適用] (コマンド：s n、52)
すべての入力の同じ動画値に現在の入力の動画モードと
低値を適用します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (5)(2)() (データ)(Cr)

データ 01：適用

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(5)(2)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* 適用後、しばらくは他のコマンドが動作しません。

86.[オンタイマー]予約 (コマンド：f d)
オンタイマーを設定します。

放送

(f)(d)() (IDの設定)() (データ1)() (データ2)()

(データ3)(Cr)

データ1

1. f1h~f7h (データ読み取り)

F1：最初のオンタイマーのデータの読み取り

F2：2番目オンタイマーのデータの読み取り

F3：3番目オンタイマーのデータの読み取り

F4：4番目のオンタイマーデータの読み取り

F5：5番目オンタイマーのデータの読み取り

F6：6番目オンタイマーのデータの読み取り

F7：7番目オンタイマーのデータの読み取り

2. e1h~e7h (インデックス1個を削除)、
e0h (すべてのインデックスを削除)

E0：すべてのオンタイマーを削除

E1：最初のオンタイマーを削除

E2：2番目のオンタイマーを削除

E3：3番目のオンタイマーを削除

E4：4番目のオンタイマーを削除

E5：5番目のオンタイマーを削除

E6：6番目のオンタイマーを削除

E7：7番目のオンタイマーを削除

3. 01h~0ch (オンタイマーの曜日設定)

02：毎日繰り返し

03：月曜日から金曜日に繰り返し

04：月曜日から土曜日に繰り返し

05：土曜日から日曜日に繰り返し

06：日曜日に繰り返し

07：月曜日に繰り返し

08：火曜日に繰り返し

09：水曜日に繰り返し

0A：木曜日に繰り返し

0B：金曜日に繰り返し

0C：土曜日に繰り返し

データ2 00-17：00~23時間

データ3 00-3B：00~59分

* 設定したオンタイマーの読み取りまたは削除を行うには、[データ2][データ3]をFFHに設定する必要があります。

例1：fd 01 f1 ff ff - [オンタイマー]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2：fd 01 e1 ff ff - [オンタイマー]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例3：fd 01 04 02 03 - オンタイマーを月曜日から土曜日の2時3分に設定します。

* この機能は、時刻1 (年/月/日) と時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合にのみ動作します。

アクノリッジメント

(d)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)

(データ3)(x)

87.[オフにする時刻]予約 (コマンド: f e)
オフタイマーを設定します。

放送

(f)(e)()(IDの設定)()(データ1)()(データ2)()
(データ3)(Cr)

データ1

1. f1h~f7h (データ読み取り)

F1: 最初のオフタイマーのデータの読み取り

F2: 2番目のオフタイマーのデータの読み取り

F3: 3番目のオフタイマーのデータの読み取り

F4: 4番目のオフタイマーのデータの読み取り

F5: 5番目のオフタイマーのデータの読み取り

F6: 6番目のオフタイマーのデータの読み取り

F7: 7番目のオフタイマーのデータの読み取り

2. e1h~e7h (インデックス1個を削除)、
e0h (すべてのインデックスを削除)

E0: すべてのオフタイマーを削除

E1: 最初のオフタイマーを削除

E2: 2番目のオフタイマーを削除

E3: 3番目のオフタイマーを削除

E4: 4番目のオフタイマーを削除

E5: 5番目のオフタイマーを削除

E6: 6番目のオフタイマーを削除

E7: 7番目のオフタイマーを削除

3. 01h~0ch (オフタイマーの曜日設定)

02: 毎日繰り返し

03: 月曜日から金曜日に繰り返し

04: 月曜日から土曜日に繰り返し

05: 土曜日から日曜日に繰り返し

06: 日曜日に繰り返し

07: 月曜日に繰り返し

08: 火曜日に繰り返し

09: 水曜日に繰り返し

0A: 木曜日に繰り返し

0B: 金曜日に繰り返し

0C: 土曜日に繰り返し

データ2 00-17: 00~23時間

データ3 00-3B: 00~59分

* 設定したオフタイマーの読み取りまたは削除を行うには、[データ2][データ3]をFFHに設定する必要があります。

例1: fe 01 f1 ff ff - [オフタイマー]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例2: fe 01 e1 ff ff - [オフタイマー]の1番目のインデックスデータを読み取ります。

例3: fe 01 04 02 03 - オフタイマーを月曜日から土曜日の2時3分に設定します。

* この機能は、時刻1 (年/月/日) と時刻2 (時/分/秒) が設定されている場合にのみ動作します。

アクノリッジメント

(e)()(IDの設定)()(OK/NG)(データ1)(データ2)
(データ3)(x)

88.LCIN008コントロール (コマンド: s n, b8)
LCIN008デバイスを制御します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(b)(8)()
(データ1)(データ2)(Cr)

データ1 00: LCIN008の出力

01: LCIN008の輝度

データ2

1. 出力の場合

0 x 00: オフ

0 x 01: オン

2. 輝度の場合

0 x ff: 読み取り

0 x 00~0 x 64: 設定した値を適用します

確認

(n)()(セットID)()(OK/NG)(b)
(8)(データ1)(データ2)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* 適用後、しばらくは他のコマンドが動作しません。

89.[転送コントロール] (コマンド: s n, cb)
RS232Cにコマンドを転送します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(c)(b)()(データ)(Cr)
データ RS232C出力に出力されるデータ

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(c)
(b)(データ)(x)

データ RS232C出力に転送されるデータの応答値

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* 適用後、しばらくは他のコマンドが動作しません。

90.マルチチャンネル (コマンド: s n, 76)
チャンネルを変更します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(7)(6)()(データ)(Cr)
データ 01 - 09: 切り替えるチャンネル

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(7)(6)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

91. Setidを変更する (コマンド: j x)

Setidを変更・確認します。

1. 一般的なLEDモデルであるとき

放送

(j)(x)()(セットID)()(Data1)()(データ2)(Cr)

データ1 データ2 : 00 01~03 e8 (1~1000)

アクノリッジメント

(x)()(セットID)()(OK/NG)

(データ1)(データ2)(x)

2. 別なモデルであるとき (読み取り専用)

放送

(j)(x)()(セットID)()(データ)(Cr)

データ FF : Setidの値を確認する

戻り値は、ASCIIコード値に対応する16進数値として示されます。

(Setidが1のとき、x 01 OK31xが戻り値です

Setidが1000のとき、x 3e8 OK31303030xが戻り値です)

アクノリッジメント

(x)()(セットID)()(OK/NG)(データ)(x)

* Setidが一致しなくても機能します。

92. [ガンマ] (コマンド: s n, ad)

ガンマモードを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(a)(d)()(データ)(Cr)

データ 00 : [低] (1.9)

01 : [中] (2.2)

02 : [強1] (2.4)

03 : [強2] (BT.1886)

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(a)(d)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

93. [黒レベル] (コマンド: s n, ae)

ブラックレベルモードを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(a)(e)

()(データ)(Cr)

データ 00 : 低

01 : 中

02 : 自動

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(a)(e)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

94. [4K ディープカラー] (コマンド: s n, af)

各入力に対してUHDディープカラーモードを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(a)(f)

()(データ1)(データ2)(Cr)

データ1 70 : DVI-D

90 : HDMI1

91 : HDMI2

92 : OPS/HDMI3/DVI-D

95 : OPS/DVI-D

96 : HDMI3/DVI-D

97 : HDMI3/HDMI2/DVI-D

98 : OPS

99 : HDMI2/OPS

C0 : ディスプレイポート

C1 : ディスプレイポート/USB-C

C2 : HDMI3

C3 : HDBaseT

データ2 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(a)

(f)(データ1)(データ2)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

95. [同期モード] (コマンド: s n, b0)

同期モードを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(b)(0)()(データ)(Cr)

データ 00 : [スレープモード]

01 : [マスターモード]

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(b)(0)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

96. [入力マネージャー] (コマンド : s n、b1)
入力によってラベルを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(b)(1)

()(データ1)(データ2)(Cr)

データ1 90 : HDMI1

91 : HDMI2

92 : OPS/HDMI3/DVI-D

95 : OPS/DVI-D

96 : HDMI3/DVI-D

97 : HDMI3/HDMI2/DVI-D

98 : OPS

99 : HDMI2/OPS

C0 : ディスプレイポート

C1 : ディスプレイポート/USB-C

C2 : HDMI3

C3 : HDBaseT

データ2 00 : DTV

01 : PC

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(b)

(1)(データ1)(データ2)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

97. [PC/OPSのオン/オフ] (コマンド : s n、8b)
OPS/PC電源コントロールモードを設定します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(8)(b)

()(データ)(Cr)

データ 00 : [無効化]

01 : [同期 (オン)]

02 : [同期 (オン/オフ)]

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(8)(b)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

98. [LED部分制御] (コマンド : s n、c1)
[LED部分制御]を設定します。

([設定] → [表示] → [プロ設定]の下のサブ項目
で、LED部分制御を設定するための機能)

放送

(s)(n)()(セットID)()(c)(1)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(c)(1)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

99. [スキャン反転] (コマンド : s n、87)
スキャン反転のオン/オフ状態を制御します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(8)(7)()(データ)(Cr)

データ 00 : Off (オフ)

01 : On (オン)

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(8)(7)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

- * ビデオウォールモデルの値を変更した場合は、正常に機能するように再起動してください。

100. [フレームコントロール] (コマンド : s n、b7)
フレームコントロールを制御します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(b)(7)()(データ)(Cr)

データ 00 : Off (オフ)

01 : On (オン)

アクノリッジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(b)(7)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

- * ビデオウォールモデルの値を変更した場合は、正常に機能するように再起動してください。

101. [Average Picture Level自動制御]
(コマンド : s n、be)

Average Picture Level自動制御を設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(b)(e)()(データ)(Cr)

データ 00 : [オフ]

01 : [オン]

アクノリッジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(b)(e)(データ)(x)

- * この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

102. 明るさ値を読み取る (コマンド: m u)
明るさ値を確認します。

放送

(m)(u)() (IDの設定)() (FF)(Cr)

アクノリッジメント

(u)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ1)(データ2)
(データ3)(データ4)(データ5)(データ6)(データ7)(x)

データ1 00~64: バックライトのPWM数0~100
データ2 00~ff: 値の上位1バイトは、CA210により測定されます。

データ3 00~ff: 値の下位1バイトは、CA210により測定されます。
CA210測定値は、16進数では: 0000~ffff、10進数では: 0~65535

データ4 00~ff: 値の上位1バイトは、BLU 1センサーにより測定されます。

データ5 00~ff: 値の下位1バイトは、BLU 1センサーにより測定されます

データ6 00~ff: 値の上位1バイトは、BLU 2により測定されます

データ7 00~ff: 値の下位1バイトは、BLU 2センサーにより測定されます

BLU測定値は、16進数では: 0000~ffff、10進数では: 0~65535

* CA210測定値は、製品が工場からリリースされるとき、「校正」として入力されます。校正前にデフォルト値は0です。

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

103. [画面エラーの検出] (コマンド: t z)

画面エラーの検出機能を設定します。

放送

(t)(z)() (IDの設定)() (データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(z)() (IDの設定)() (OK/NG)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

104. [ステレオモード] (コマンド: s n, c2)

ステレオモードを制御します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (c)(2)() (データ)(Cr)

データ 00: 左/右

01: 左/左

02: 右/右

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(c)(2)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

105. [HDR映像モード] (コマンド: s n, c4)
HDR映像モードを選択します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (c)(4)() (データ)(Cr)

データ 00: モール/QSR

01: 全般

02: 官公庁/企業

04: 教育

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(c)(4)(データ)(x)

* モデルにより、一部の機能がサポートされない場合があります。

* HDRコンテンツが実行されているときのみ機能します。

106. [ダイナミックトーンマッピング]

(コマンド: s n, c5)

ダイナミックトーンマッピングを選択します。

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (c)(5)() (データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [オン]

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(c)(5)(データ)(x)

* モデルにより、一部の機能がサポートされない場合があります。

* HDRコンテンツが実行されているときのみ機能します。

107. [LED部分制御] (コマンド: s n, c6)

LED部分制御を設定します。

([設定] → [表示] → [映像モード] → [映像オプション])の下のサブ項目で、LED部分制御を設定するための機能)

放送

(s)(n)() (IDの設定)() (c)(6)() (データ)(Cr)

データ 00: [オフ]

01: [低]

02: [中]

03: [高]

アクノリッジメント

(n)() (IDの設定)() (OK/NG)(c)(6)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

108. [USB2 → HDBaseT] (コマンド：s n、c3)

USB2 → HDBaseTを設定します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(c)(3)()(データ)(Cr)

データ 00：[オフ]

01：[オン]

アクノリジメント

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(c)(3)(データ)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

109. [パスワードの変更] (コマンド：s n、a7) パスワードを変更します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(a)(7)()(データ1)
(データ2)(データ3)(データ4)(データ5)(データ6)
()(データ7)(データ8)(データ9)(データ10)
(データ11)(データ12)(Cr)

データ 1～6：0～9 (以前に設定されたパスワード)

データ 7～12：0～9 (新しいパスワード)

アクノリジメント

(n)()(セットID)()(OK/NG)(a)(7)()(データ1)
(データ2)(データ3)(データ4)(データ5)(データ6)
()(データ7)(データ8)(データ9)(データ10)
(データ11)(データ12)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

110. [輝度範囲の調整] (コマンド：s n、ab) 輝度範囲を調整します。

放送

(s)(n)()(セットID)()(a)(b)()(データ1)()
(データ2)(Cr)

データ1 00：最小明るさコントロール

01：最大明るさコントロール

データ1 00～64：リモコン

確認

(n)()(セットID)()(OK/NG)(a)(b)(データ1)
(データ2)(x)

* この機能は、一部のモデルでは利用できない場合があります。

* Data2は、5の倍数である16進値のみをサポートします。

* 最小輝度値の範囲を最大輝度値の範囲より大きくすることはできません。また、最大輝度値の範囲を最小輝度値の範囲よりも小さくすることはできません。

111. [色の校正] (コマンド：s n、d6) 色の校正を選択します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(d)(6)()(データ)(Cr)

データ 00：オフ

01：オン

確認

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(d)(6)(データ)(x)

* モデルによっては対応していない場合があります。

112. [静寂モード] (コマンド：s n、c7) 静音モードを選択します。

放送

(s)(n)()(IDの設定)()(c)(7)()(データ)(Cr)

データ 00：オフ

01：オン

確認

(n)()(IDの設定)()(OK/NG)(c)(7)(データ)(x)

* モデルによっては対応していない場合があります。

